

令和元年度沖縄振興推進調査

# 環金武湾におけるスポーツ・ヘルスケア ツーリズム事業化調査

調査報告書

令和3年3月31日

大高商事株式会社

# 目次

---

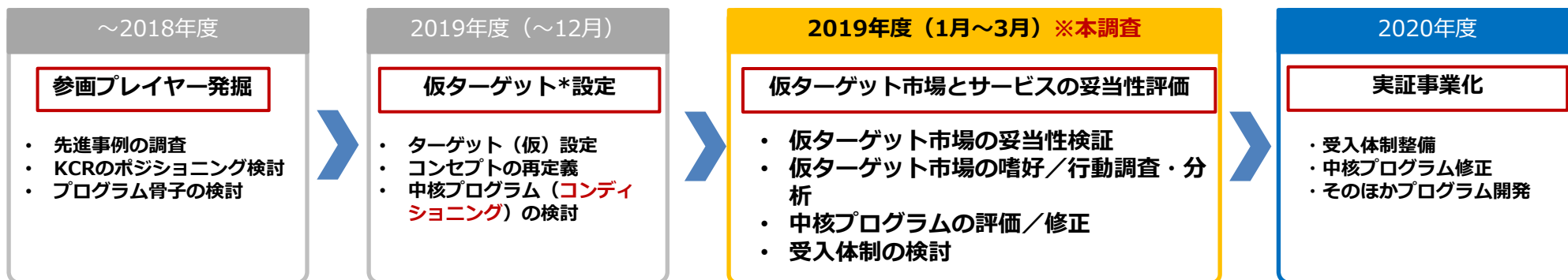
<b>1. 調査概要</b>	… 2
(参考) KINコンディショニングリゾート概要	… 3
<b>2. KINコンディショニングリゾート参画企業会議</b>	… 9
<b>3. WEBアンケート調査</b>	… 10
3－1 アンケート調査概要	… 11
3－2 アンケート総括	… 12
3－3 アンケート結果	… 13
<b>4. 専門家による検討会議</b>	… 67
4－1 専門家選定	… 68
4－2 専門家会議実施概要	… 69
4－3 専門家会議用映像制作	… 70
4－4 専門家会議総括	… 71
<b>5. 参画企業会議</b>	… 72

---

# 1. 調査概要

KINコンディショニングリゾート（KCR）の、これまでの開発・検討の経緯を踏まえて、本調査におけるゴールを以下と設定する。

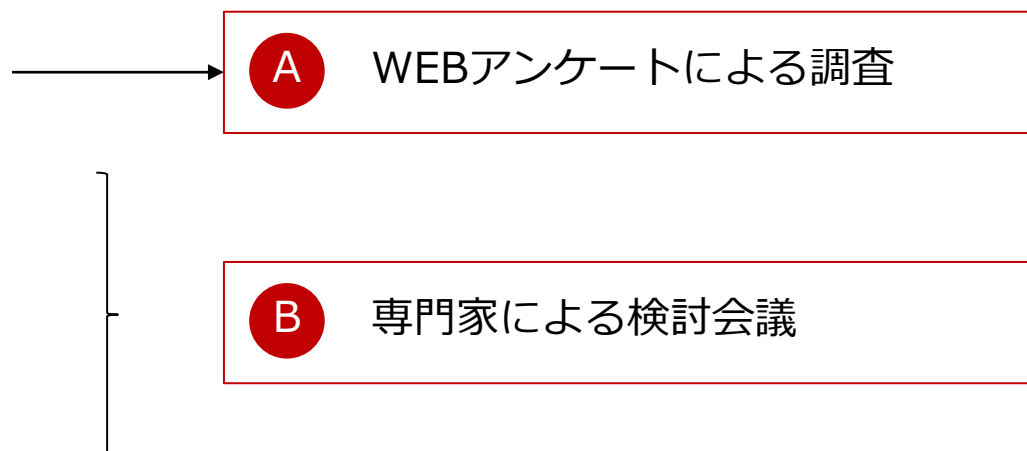
## これまでの経緯



\* KCRでは、アッパーマス層（保有資産3,000万円～5,000万円）のヘルスコンシャス層を仮ターゲットに設定

## 本調査事業のゴール

- 1 仮ターゲット市場の妥当性の把握とニーズ抽出
- 2 中核プログラムのブラッシュアップ
- 3 最適な受け入れ体制の検討



## (参考) KINコンディショニングリゾート概要



### Bringing Medical, healthcare & sports to life

“Conditioning”の聖地として、卓越した「メディカル・ヘルスケア・スポーツの融合したプログラム」を提供。

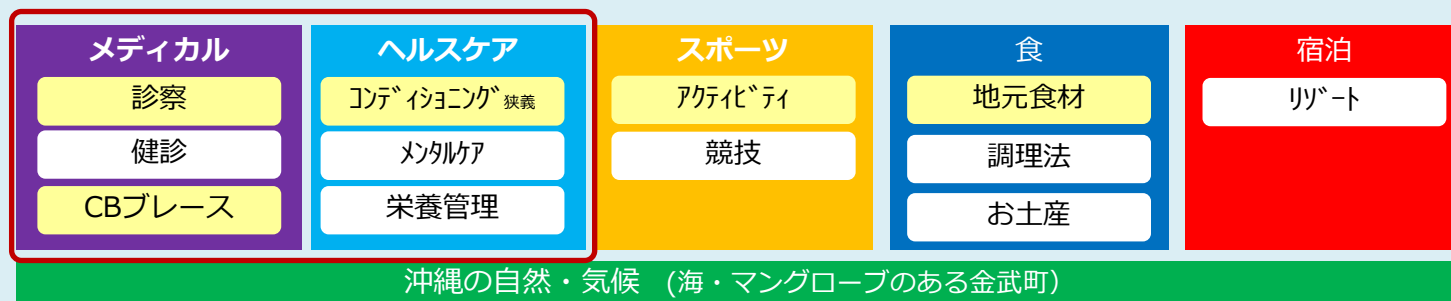
国内外から訪れる多くの人へ、

「健康で幸せになる」きっかけを与えるとともに自然資源、  
伝統文化、おもてなし人材などの地域の魅力を発信することで、  
金武町ならびに東海岸周辺地域※の活性化を目指す。



※東海岸周辺地域：うるま市、宜野座村、名護市等

a : 高い技術力



・ ・ 独自色の出しやすいサービス

特にメディカル、ヘルスケア・スポーツの3つの領域においては、その独自性を保ちつつ一貫通貫したサービスとして連動させながら提供する。

# (参考) KINコンディショニングリゾート参画企業



佐喜眞義肢

## メディカル

### 特許技術を使った、全国レベルの商品「CBブレース」

- ・変形性ひざ関節症の患者、半身まひ患者のリハビリ装具
- ・スポーツで膝・肘を壊したアスリートの利用もある。
- ・医師の処方箋にて保険適用あり。個別でフィッティングして納品

▶ **KCR提供予定サービス**：CBブレースフィッティング、CBブレースを活用したアクティビティ



医療法人社団 慶秀会  
KIN放射線治療・健診クリニック  
KIN radiation health check clinic

## メディカル

### 最新鋭の医療機器を揃えた健診施設で人間ドックなどを提供

- ・MRIやCTはじめ、各健診で高精度の結果を出せるための最新鋭の機器を設置
- ・白を基調とした造りで、シンプルながらリゾート感あふれる病院。国内外からのメディカルツーリズムも受け入れている。

▶ **KCR提供予定サービス**：人間ドック・脳ドック



医療法人 ぎんばるの海  
KINスポーツ・整形クリニック  
通所リハビリテーション  
訪問リハビリテーション  
KINスポーツ・整形クリニック  
メディカルフィットネスぎんばる  
ぎんばるの海

## メディカル

## ヘルスケア

## スポーツ

### 一環したリハビリテーション、ペインクリニックを行う

- ・レントゲン、オープンMRI、骨密度検査、運動器超音波検査等提供
- ・フィットネス施設にて個人に合わせたコンディショニングプログラムを提供
- ・グループ施設の「ぎんばるの海」では発達障害などの児童へのマリンプログラムを提供

▶ **KCR提供予定サービス**：診察、各種検査、コンディショニングプログラム、マリンプログラムなどのアクティビティ



カヌチャ・リゾート

## 食

## 宿泊

### 東海岸随一のリゾート。ゴルフ場も併設

- ・80万坪の広大な敷地で、295室の客室を提供
- ・屋内・外プールやゴルフ場を完備
- ・女性向けのスパやネイルなども充実

▶ **KCR提供予定サービス**：宿泊、食、ゴルフなどのアクティビティ



# (参考) KINコンディショニングリゾート過去のモニターツアーの内容

平成30年度に実施したモニターツアーでは以下のプログラムを提供した。

### ■一般向けConditioningプログラム

Date	Time	内容		時間	提供場所
1日目	PM	那覇空港着 各自、自由行動			那覇市内ホテル等
2日目	8:00	那覇市内ホテル発→KCRへ		60min	
	9:00	KCR着			
		■スポーツドックアドバンスト ①筋力 ②柔軟性 ③バランステスト ④歩行能力 ⑤運動負荷試験 ⑥SOAPシステムを利用した身体評価		180min	KINスポーツ・整形クリニック
	12:00	長楽へ移動		30min	
	12:30	■管理栄養士による栄養講座& 長楽ヘルシーランチ		90min	長楽
	14:00	KCR移動		30min	
	14:30	■スポーツドックベーシック ①骨密度測定 ②体組成測定 ③膝・腰等レントゲン		60min	KINスポーツ・整形クリニック
	15:30	■医師（松本教授・東先生）による フィードバック ■R-Bodyトレーニングコーチ（比嘉） からのフィードバック		120min	KINスポーツ・整形クリニック
	17:30	カヌチャへ移動		30min	カヌチャ
	18:00	■カヌチャにて各自ディナー →解散			カヌチャ泊
		ゴルフ組（2名）	マリン組（3名）		
3日目	7:00	■朝食	■朝ヨガ		カヌチャ
	8:00	—	■朝食		カヌチャ
	8:38	■ゴルフスタート ※ウェアラブル装着	—		カヌチャ
	9:20	—	KCRへ移動 ウェアラブル装着		
	10:00	—	■サップまたはカ ヤック※ウェアラ ブル装着	120min	ぎんばるの海
	12:30	KCRへ移動			未定
	13:30	アンケート&ヒア リング	アンケート&ヒア リング	60min	ランチ場所にて

### ■膝に不安がある方向けConditioningプログラム

Date	Time	内容	時間	提供場所
1日目	9:00	KINスポーツ・整形クリニッ ク集合 事務局より本日の流 れ説明	10min	
	9:10	スポーツドック ベーシック ・骨密度測定 ・体組成測定 ・膝/腰レントゲン撮影	50min	KINスポーツ整形クリニック
	10:00	スポーツドック アドバンス ト ・筋力チェック ・10m歩行チェック ・膝の可動域チェック	60min	KINスポーツ整形クリニック
	11:00	カフェレストラン・長楽へ移 動	20min	
	11:20	昼食：ヘルシーランチ&管理 栄養士による栄養講座	80min	長楽
	12:40	KIN・スポーツ整形クリニッ クへ移動	30min	KINスポーツ整形クリニック
	14:10	KINスポーツ・整形クリニッ ク着 ・医師によるフィードバック ・CBブレースフィッティング	40min	KINスポーツ整形クリニック
	14:50	ネイチャーみらい館へ移動	10min	
	15:00	ヘルスケアデータ計測アク ティビティ マングローブガイドツアー ・グランドゴルフ体験	90min	ネイチャーみらい館
	16:30	佐喜眞義肢へ移動	10min	佐喜眞義肢
	16:40	アンケート&ヒアリング	80min	
	18:00	解散		

(参考) KINコンディショニングリゾート フィジカルチェックの内容

R1年度には、モニターツアー実施内容のうち、「スポーツドックアドバンスト」をコアプログラムである「コンディショニングプログラム」に取り入れフィジカルチェック（評価）として以下の内容にて実施した。

# KCR フィジカルチェック

氏名:

年齢:

性別: 男・女

## 2.肩周部評価

肩 ROM		R	L
	屈曲		
	伸展		
	外転		
	内転		
1st	外転		
2nd	外転		
	内転		
3rd	外転		
	内転		
HDD			

肩 筋力		R	L
	屈曲		
	伸展		
	外転		
	内転		
1st	外転		
2nd	内転		

1.頸部評価	R	L
頸部ROM		
屈曲		
伸展		
側屈		
回旋		

仰臥でのつまり感	
一肩甲骨骨上+頸部伸展	
上記で変化無ければ	
一腰椎伸展+頸部伸展	

坐位で両腕でのつまり感	
一肩甲骨骨上+両肩回旋	
姿勢が変化するつまり感	
肩関節シフト・鎖骨滑脱	

★知覚過敏あれば下記テスト		
SP-1	R	L
スパーリングテスト		
肩の過伸展テスト		
アドバンステスト		
ライトテスト		

★An ROMで確認し、関節症所はPass ROMで評価

ROMテストとリンク		R	L
ROMテストとリンク	GA1テスト		
	Nzeテスト		
	H-Eテスト		
	クラシクテスト		
	ブラマンテスト		
	Bankingテスト		

肩テストとリンク		R	L
肩テストとリンク	スピードアゴニスト二腕筋		
	EFTテスト	肩関節	
	SSPテスト	肩上肢	
	ISMテスト	肘下腕	
	LRテスト	肘手前腕	
	DRテスト	肘手前腕	

※ 骨格ROM計測に際しては、終端の骨格の可動性を確認

### 3. 腰部評価

	R	L
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		

### 4. 股関節評価

	R	L
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		

※ 可動域の範囲を、骨格ROMの範囲にインデックスの範囲でチェック。

### 5. 膝関節評価

	R	L
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		

### 6. 足関節評価

	R	L
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		
骨格ROM		

動作計画  
片側ステップテスト片側の支持状況、当該イベントの両側の

備考:

# (参考) KINコンディショニングリゾート概要

2018年度に実施したモニターツアーの結果、KCRのコンセプトが訴求できる層を広くターゲットとしながらも、まずは絞り込んだ層へのサービス開発を優先して行う必要性を認識。以下のようにターゲット設定を実施した。

## 対象とする年齢層

最終ゴール：アスリートから一般成人、シニア、ジュニアまでをカバー！

専属トレーナー等が常駐することが多い春季キャンプ・合宿利用のアスリートなどは、サービス提供のハードルが高く収益化が難しいことから、直近のターゲットとしてはパイの大きい一般の成人とし、アスリートは広告塔としての活用を検討する。

## まずは、一般成人から

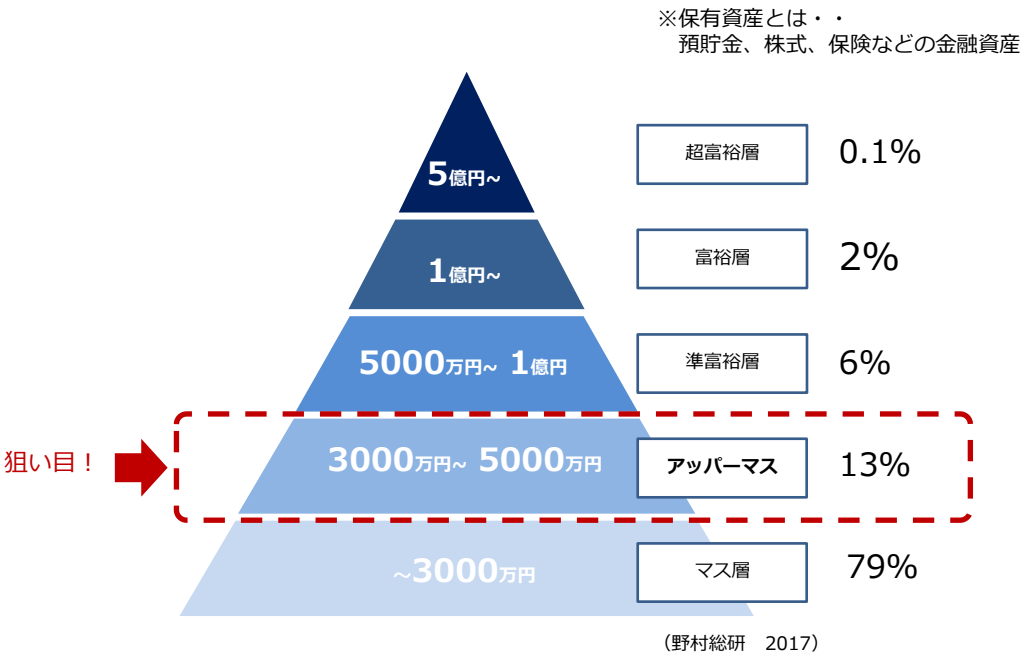
## 対象とする社会的ステータス

最終ゴール：富裕層

- 中小企業の集合体でサービス提供するKCRでは、収益性を高めるため、**客単価をある程度確保する**必要がある。
- ただし、タイのChiva-Somのような超富裕層、富裕層を狙うような**統一コンセプトのデザイン設計**とはなっていない。
- そのため、各企業が個々人にカスタマイズされたサービス提供を行うなど**プログラムの改善を行い、サービス品質を向上**する必要がある。
- その上で、ある程度収益が見込める**アップーマス（金融資産が3,000-5,000万）のヘルスコンシャス層※**をターゲット（仮）として設定する。 ※ジムに通ったりサプリを飲んだり健康への意識が高い層。

## まずは、アップーマスのヘルスコンシャス層から

日本における家庭の保有資産と世帯割合



※佐喜眞義肢のCBブレースを活用したシニア向けサービスは、一般向けサービスとは年齢層、健康状態（膝の状態）などターゲットの特徴がかなり異なる。そのため、プログラム内容や旅行行程、販促方法なども異なると考えられることから、一般向けとは分けてターゲット設定やサービス開発・検討を行う。



## (参考) KINコンディショニングリゾート概要

KCRの当面のターゲットとして以下のペルソナを設定。

### 基本情報

氏名：伊藤 俊介（45歳）  
出身：千葉県生まれ  
家族構成：同い年の妻と長女（中3）、長男（中1）の4人暮らし  
身長/体重：170cm/66kg  
住宅：江東区の3LDKマンションを10年前に、4,200万円で購入。  
仕事：明治大学を卒業後、大手生命保険会社に入社。35歳でヘッドハンディングされ、外資系の損保会社に転職。一昨年昇進し営業企画部長。年収800万円。  
妻との関係：妻とは1社目の生保時代に職場で知り合う。妻はそのまま、保険会社に勤務。産休、育休、時短勤務を経て3年前からフルタイム（ただし、妻はほぼ残業なし）。妻の年収500万円。  
金融資産：仕事柄、貯蓄型保険に加入している。また、外貨建て預金と投資信託も少し。



### 趣味・嗜好

スポーツ：

- ・小〜中とサッカー部に所属。高校でバンド活動にはまりサッカーを辞める。
- ・社会人5年目くらいから、前職の同僚に誘われ週一フットサルで汗を流す。（最近は忙しくてあまり行けていない）
- ・長男もサッカーをやっているの、小学生の間は自主練等に付き合う（中学性になってからは、一緒にはいかない）
- ・外資損保に転職してから、自転車始める。
- ・40歳で自転車を始める。トライアスロンにも手を出し、1-2回/年に県外レースにも参加。

他の趣味：

- ・スニーカー収集。妻に言わせると同じに見える（らしい）、黒のスニーカーを6足は持っているが、まだ欲しい。1足2万円〜3万円。
- ・通勤時はiPhoneで音楽を聞いている。ミスチル世代。

健康：

- ・人間ドックではコレステロール値が若干高いが、その他は問題なし。
- ・1回/週にジム通いが希望だが、昇進してからは行けていない。
- ・そのせいで、体重が3kg増加（63kg→66kg）→娘に「パパ、最近太った？」と言われて、気にしている。

沖縄：

- ・沖縄は何度か訪れている。若い時は離島一人旅などをしたこともある。
- ・子供が小学校低学年の頃には、夏休みにルネサンスリゾートへ2度ほど滞在。
- ・一昨年は宮古島のトライアスロンにもエントリー。ツールドおきなわにも興味あり。

## 2. KINコンディショニングリゾート参画企業会議

アンケート調査、専門家会議実施にあたり、参画企業に対して情報共有及び意見交換を行った。

会議名	KINコンディショニングリゾート参画企業会議
日時	2020年1月9日（木）14:00～15:00
場所	金武町役場 A会議室
参加者 (敬称略・順不同)	佐喜眞義肢：高江洲氏 KIN放射線治療・健診クリニック：濱矢氏 KINスポーツ・整形クリニック：古波蔵事務長代理、比嘉部長 琉球リハビリテーション学院：林学科長 金武町：八重樫政策調整監、奥本主事 金武町観光協会：喜久山事務局長 R's conte：野中代表 内閣府沖縄総合事務局：玉城課長補佐 仲西係長、上原氏 事務局（大高商事）：青田

### ■議題

- アンケートの内容について
- コンディショニングプログラムの内容・専門家会議行程等について

### ■主な検討概要

#### （アンケートの内容について）

- Web調査で、現時点のプログラム内容をwebアンケートで文面のみで伝えるのが難しいが検討する。
- 金武町の魅力に関しての質問もあってよいだろう。また、ジム通いなら、月にいくらぐらい投資しているのかの質問も必要。東京だと当たり前に通っていると思うので、沖縄にくるのであれば、金武に本格的にメディカルの施設があったら参加しやすいのか、メディカルでなければ別のこういった魅力を求めているのか、また、食も含めたプログラムがほしいと思っているのかという設問も必要ではないか。メディカルの定義を「治療が必要な人」ではなく「未病の段階の予防の段階でくる」という視点でやるのもありではないか。
- まだ決まっていないツアー全体に対して、アンケートをとっても有効な回答得られないので、例えば「栄養価の高い食に1万円払いますか」など個別プログラムについて質問を設けるのはどうか。

#### （専門家会議の進め方について）

- コンディショニングプログラムについては、口頭で説明すると伝わりづらく

委員自ら体験をすることで、よりフィードバックが明確になることから現地に招聘して行うことが望ましい。

- また、金武町周辺を視察いただき、周辺環境についても意見をいただくほうがよいのではないか。

#### （コンディショニングプログラムについて）

- コンディショニングとメディカルの連携について、専門家会議では「プログラム評価」となっているが、評価の前に、メディカルとコンディショニングの融合について整理するべきではないか。
- コンディショニングプログラムについては、（KINスポーツ・整形クリニックの）職員とともに今まで3回試行しているが、個人の「癖」に関する評価については、職員によってどこに原因があるのかの判断が変わってしまう。参考とする他社プログラムの仕組みも10年、20年通して確立されたプログラムだと認識。クリニックでもプログラムの確立まで時間が必要。
- プログラムでは「癖」を見つけて改善をしていくことを評価の対象としているが、そうすると「予防」的な観点は見つけにくい。他社は、「動き」1つで、10項目の癖を見つけるようなプログラムがあるように、そういった判断プロセスの仕組みが必要。
- メディカル軸は重要。まずはメディカルとコンディショニングをいかにプログラム化できるかの議論が必要。現時点では、一般ユーザーの意見が必要というよりは、専門家による議論が大事ではないか。
- 前回モニターツアーでの課題（メディカル融合の難しさ）として、ターゲットしているヘルスコンシャスなアッパーマス層を想定したときに、医学的には大丈夫（治療は必要ではないため、メディカルとしてのフィードバックが若干物足りない）という人が多かったという点が挙げられる。一方で、未病の段階の予防はコンディショニングの領域と親和性があると考えられる。最終的には、医学的な正確性と顧客満足度のバランスが重要。
- ひと昔前は、「マーケットイン」で考えていたが、今は「プロダクトアウト」で、こちらが本当にそのサービスを提供したい（サービスを必要とする人のみ）に提供するというスタンスまで振り切ってもよいのではないか。
- ホノルルマラソンに興味を持つ層が一例だが、これまでその分野に関心が小さくなくても、沖縄だから興味を持つ可能性もある。プログラムの方向性について、（専門家会議を踏まえ）企画を深掘りする必要がある。

#### （受入体制について）

- 受入体制の整備については観光協会にも協力いただき、各施設の導線や具体的な提案や課題等について、専門家会議前に共有をお願いしていく。

### 3. WEBアンケート調査

#### A WEBアンケートによる調査

##### 目的

ターゲットの妥当性をはかり、嗜好を調査

想定サービスの魅力や関心をはかる

##### 手法

#### WEBアンケート

アンケート調査や集計の効率性、対象地域の広域性を考慮し、WEBアンケートの形態をとった。

#### 収入の幅で3層を対象

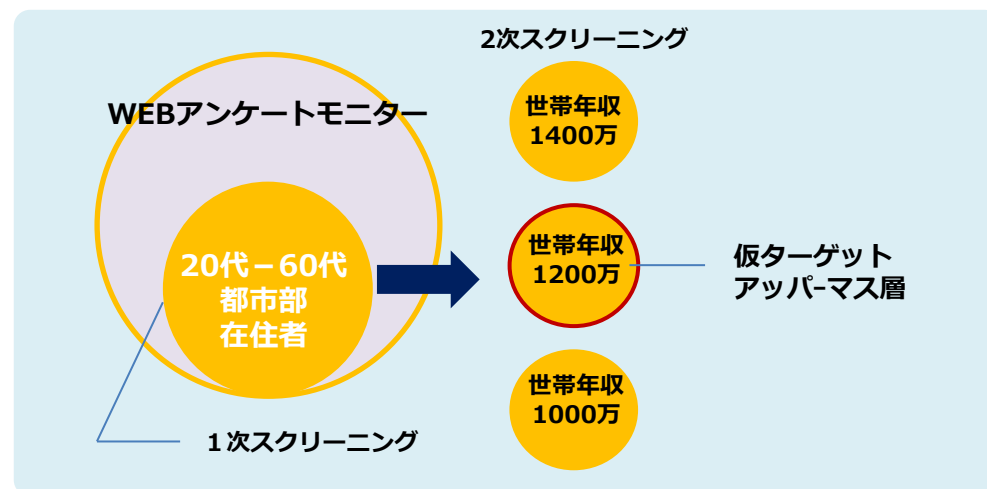
ターゲットの妥当性をはかるため、アップパームスの上下の収入層も調査対象とする。なお、回答者にとって保有資産の区分は分かりづらいため、世帯年収で区別する。

アップパームス層：世帯年収1,200万円前後※であるため、1000万～1200万、1200万から1400万、1400万以上の三層を対象とした。

#### スクリーニング⇒300件有効回答

沖縄への渡航の利便性を鑑み、1次スクリーニングでは都市部在住者（東名阪福）に絞った

※家計の金融行動に関する世論調査〔単身世帯調査〕（令和元年）  
「年間手取り収入（臨時収入を含む）からの貯蓄割合（金融資産保有世帯）」より



##### 設問例

#### ターゲットの妥当性をはかり、嗜好を調査

- 健康への意識
  - 健康への取り組み／頻度
  - 健康でケアしたい部分
  - 情報源
  - 気になる健康トピックス
- Q何に関心がある？（運動、睡眠、ストレッチ）  
Q何をしているか？（ジム通い、サプリ）  
Qどこが気になる？（腰痛、体重、膝）  
Qどこで取得？（雑誌、ネット、トレーナー）  
Q気になるワード？（糖質ダイエット、疲労回復）など

#### 想定サービスの魅力や関心をはかる

- 滞在型ヘルスケアツーリズムの認知度（チバソム、テラスクラブアットブセナ）
- 上記への関心／興味
- どのようなサービスを期待するか
- 上記への消費単価のイメージ
- Conditioningというキーワードに期待すること など

## 3-1 アンケート調査概要

### 概要

現在想定している顧客層（高世帯収入者）に対して、インターネット上でのアンケート調査を実施。今後の運営に向けた基礎資料となるデータ収集を行った。

### 実施期間

令和2年2月28日～3月2日

### 回答者

東京・大阪・愛知・福岡県に住む世帯収入1,000万以上の方  
※沖縄へのアクセスが容易な都市部

### 有効回答数

世帯収入1,000万～1,200万未満	100件
世帯収入1,200万～1,400万未満	100件
世帯収入1,400万以上	100件

合計：300件

### 調査項目

1. 基礎情報  
性別  
年齢  
居住地  
世帯年収  
既婚/未婚  
子どもの有無
2. 健康習慣・健康への関心・沖縄の食への関心について
3. 食への関心と取組について
4. コンディショニングについて
5. 滞在型ヘルスツーリズムについて
6. 沖縄への訪問回数・来訪意向について

### 設問数

1. 基礎情報  
7問
- 2～6. 個別情報  
32問

## 3-2 アンケート総括

### ■ターゲットについて

仮説：年収が高いほど運動実施率が高い

今回の**3つの年収カテゴリーによる大きな差は見られなかった**が、厚労省調査の「世帯収入別運動実施率」と比較すると、今回の調査対象（世帯年収1000万以上）については**日ごろの運動実施率が高い**と言える。

### ■ターゲットの行動

仮説：ウォーキング、ランニングなどの日常的にできる運動に加え、アッパーマス層はスポーツ(マラソン・自転車・トライアスロン)の実施率が高い

想定ほど自転車やトライアスロンなど競技志向の強い運動実施率が高くなく、**ウォーキング/ランニング、ストレッチ、ジム通い**が多い。KCRが提供するフィードバックにおいても**日ごろこれらの運動の参考となる内容を盛り込む**べき。

### ■ターゲットの消費行動

仮説：マラソンやトライアスロンなど大会参加費や自転車などのスポーツギアの消費額が高い

前述の行動でもわかるとおり競技志向の強い運動に対する消費額は少ない。運動行動自体があまりコストがかからない（ジム通い除く）こともあり、**サプリやプロテイン**などへの一定の消費が見られることから、これらをプログラムの中に取り込んでいきたい。

### ■ターゲットの関心

仮説：体重増加や運動不足などの関心が高い

体重増加や運動不足などを抑えて、**肩こり、腰痛がトップ2**になっていることから、**ターゲットの関心事がKCRのプログラムにマッチしている**と言える。

### ■食について

仮説：カロリーや栄養バランスを気にしており、沖縄の食についてはアメリカ文化の影響で不健康なイメージがある

関心としては一般的なカロリーや栄養バランスだが、沖縄の食については、仮設と異なり**「独特の食材」で「健康的」**イメージが高い。これらをうまく活用した食プログラムを開発したい。

### ■Conditioning

仮説：Conditioning = アスリートの強化というイメージが強い

仮説と異なり、KCRが一番売りたい**「身体を整える」**に近いイメージが持たれている。

### ■滞在型ヘルスツーリズム

仮説：アッパーマス層は滞在型ツーリズムへの関心が高い

認知度が低いため、利用意向も低くとどまっていると考えられる。今後、**市場の成長度合いを見ながらプロモーションを検討する必要がある**。（あるいはニッチなマーケットのまま勝負していく可能性も）

### ■運動実施頻度

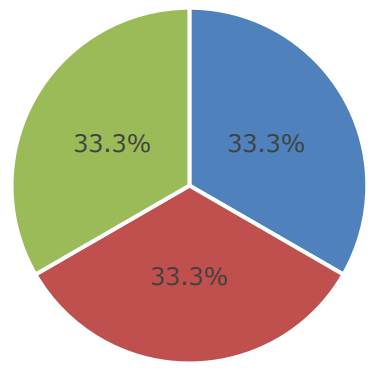
仮説：運動実施率が高い層ほど滞在型ヘルスツーリズムへの関心が高い

追加クロス集計では、目安として**運動実施頻度が1回/週以上の層が、滞在型ヘルスツーリズムへの一定の関心**があり、K C Rサービスが受け入れられやすいと想定されるため、これらをターゲットとしたサービス開発を行ってきたい。

# 3-3 アンケート結果

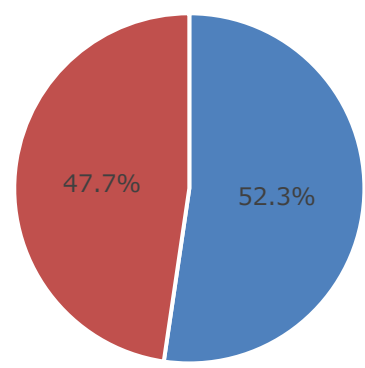
## 基本属性

■ 世帯収入



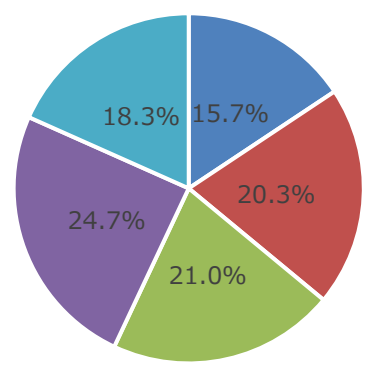
■ 1000万~1200万未満 ■ 1200万~1400万未満 ■ 1400万以上

■ 性別



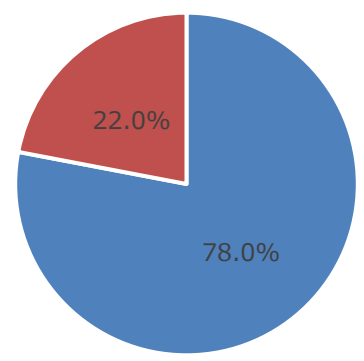
■ 男性 ■ 女性

■ 年代



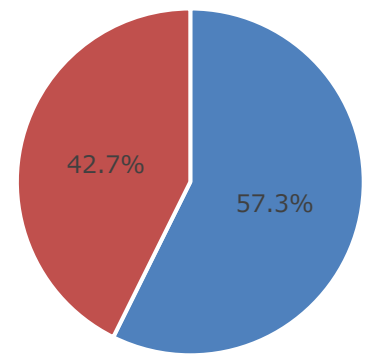
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

■ 結婚



■ 既婚 (離婚・死別を含む) ■ 未婚

■ 子供



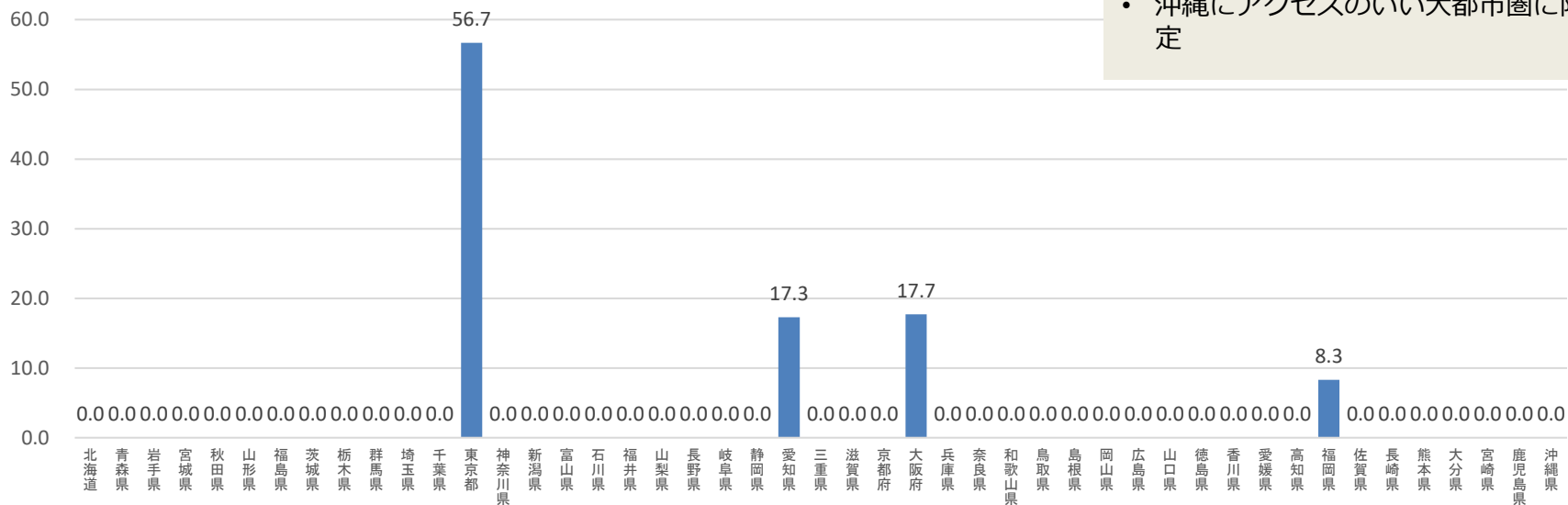
■ いる ■ いない

- 世帯収入3カテゴリー100名ずつ
- 男女は1/2ずつ
- 世代は50代がやや多く10代がやや少ない
- 既婚が3/4以上
- 子供がいる人が6割弱

## 3-3 アンケート結果

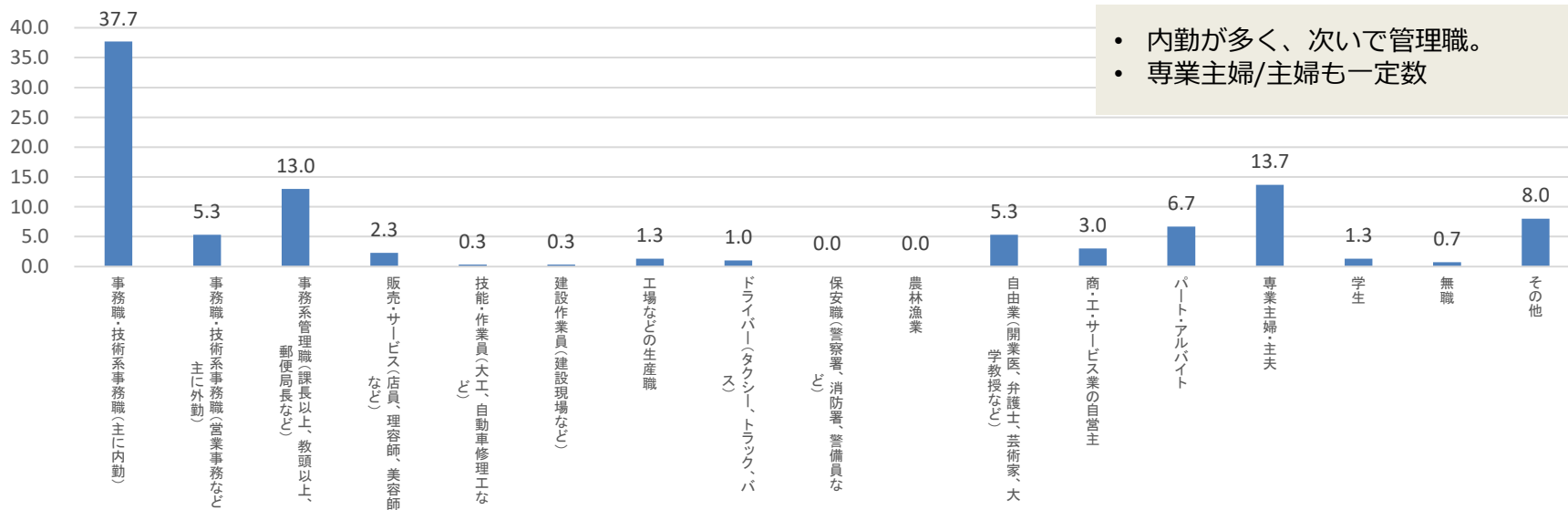
## 基本属性

## ■居住地



- ・ 沖縄にアクセスのいい大都市圏に限定

## ■職業



- ・ 内勤が多く、次いで管理職。
- ・ 専業主婦/主婦も一定数

## 3 - 3 アンケート結果

---

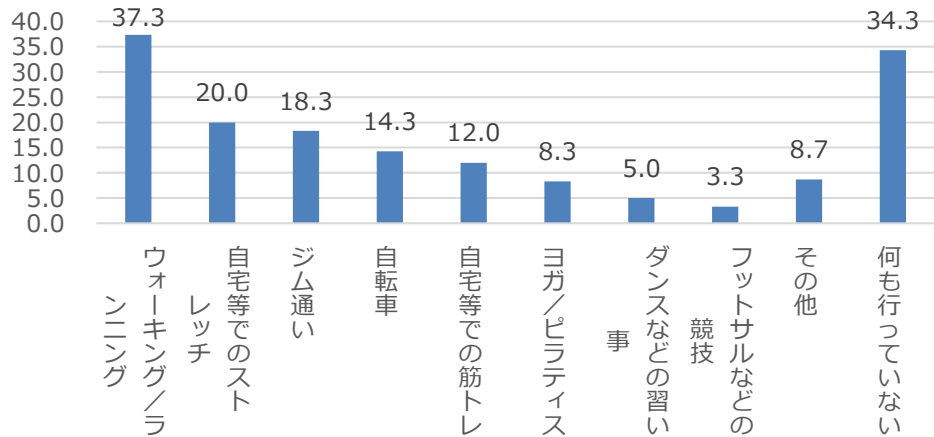
### 1. ターゲットの嗜好・行動について



3-3 アンケート結果 運動習慣

現在、健康のために日頃行っている運動はありますか？（複数回答可）

全体では「ウォーキング/ランニング」が37.3%で最も回答が多かった。性別でも男性・女性共に「ウォーキング/ランニング」の回答が多い。次いで「何も行っていない」が続く。年代別でも「ウォーキング/ランニング」が高いが、20代と30代では「ジム通い」との回答也多かった。世帯収入では1,000万～1,200万と1,400万以上が「何も行っていない」が最も回答が多い。



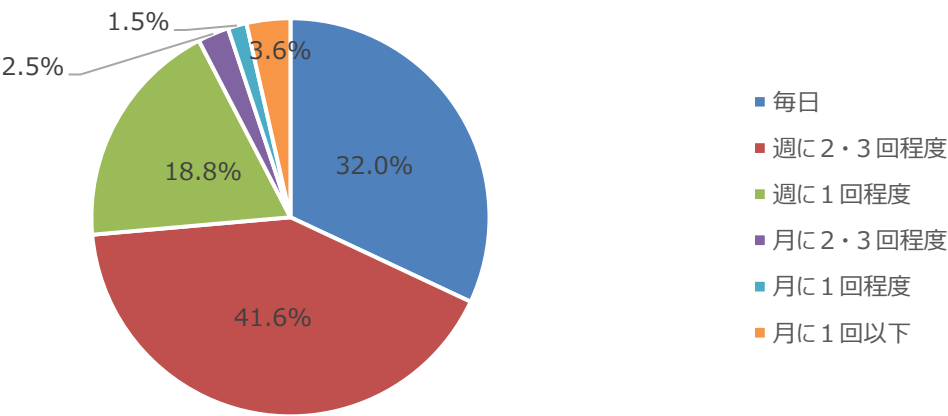
ウォーキング・ランニング、自宅等でのストレッチ、ジム通いの割合が高いことから、KCRのフィードバックにおいて日々のこれらの活動に対しての運動指導ができるとよい。

		該当数	ウォーキング/ランニング	自宅等でのストレッチ	ジム通い	自転車	自宅等での筋トレ	ヨガ/ピラティス	ダンスなどの習い事	フットサルなどの競技	その他	何も行っていない
全 体		300	37.3	20.0	18.3	14.3	12.0	8.3	5.0	3.3	8.7	34.3
性 別	男性	157	41.4	17.2	17.2	19.1	13.4	1.9	0.6	5.1	13.4	31.8
	女性	143	32.9	23.1	19.6	9.1	10.5	15.4	9.8	1.4	3.5	37.1
年 代	20代	47	29.8	27.7	29.8	10.6	23.4	8.5	12.8	8.5	6.4	25.5
	30代	61	34.4	19.7	26.2	19.7	8.2	8.2	3.3	6.6	6.6	36.1
	40代	63	46.0	15.9	14.3	11.1	12.7	6.3	1.6	0.0	4.8	41.3
	50代	74	35.1	20.3	13.5	13.5	8.1	9.5	4.1	2.7	6.8	41.9
	60代	55	40.0	18.2	10.9	16.4	10.9	9.1	5.5	0.0	20.0	21.8
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	31.0	22.0	16.0	13.0	14.0	10.0	6.0	5.0	10.0	36.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	45.0	18.0	18.0	16.0	12.0	6.0	6.0	4.0	9.0	27.0
	世帯年収1400万以上	100	36.0	20.0	21.0	14.0	10.0	9.0	3.0	1.0	7.0	40.0

3-3 アンケート結果 運動頻度（回数）

「現在、健康のために日頃行っている運動はありますか？」で回答いただいたことはどれくらいの頻度で行っていますか？

全体では「週に2・3回程度」が41.6%で最も回答が多い。性別では男性・女性共に「週に2・3回程度」が多く、次いで「毎日」との回答が多かった。年代では50代のみ「毎日」が最も多く、それ以外の年代では「週に2・3回程度」が多い。

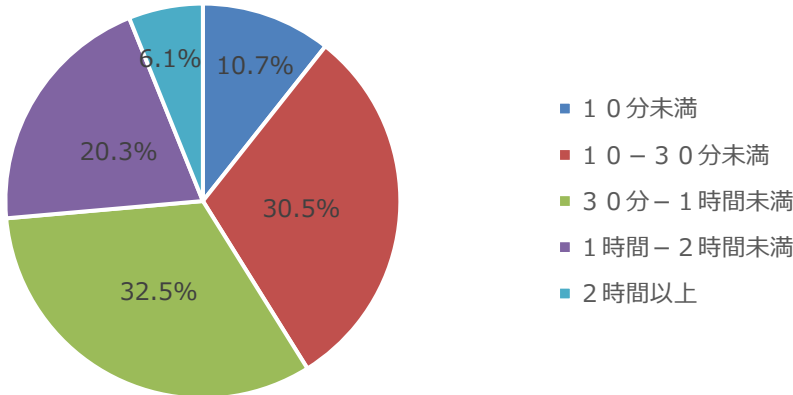


		該当数	毎日	週に2・3回程度	週に1回程度	月に2・3回程度	月に1回程度	月に1回以下
全 体		197	32.0	41.6	18.8	2.5	1.5	3.6
性 別	男性	107	32.7	39.3	20.6	2.8	0.9	3.7
	女性	90	31.1	44.4	16.7	2.2	2.2	3.3
年 代	20代	35	25.7	48.6	20.0	0.0	0.0	5.7
	30代	39	30.8	41.0	23.1	2.6	0.0	2.6
	40代	37	21.6	54.1	18.9	2.7	0.0	2.7
	50代	43	46.5	30.2	14.0	0.0	7.0	2.3
	60代	43	32.6	37.2	18.6	7.0	0.0	4.7
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	64	29.7	35.9	25.0	3.1	1.6	4.7
	世帯年収1200万～1400万未満	73	30.1	46.6	16.4	1.4	1.4	4.1
	世帯年収1400万以上	60	36.7	41.7	15.0	3.3	1.7	1.7

3-3 アンケート結果 運動頻度（時間）

「Q 2 現在、健康のために日頃行っている運動はありますか？」で回答いただいたことについて、1 回あたりに費やす時間をお選びください。

全体では「30分～1時間未満」が32.5%で最も回答が多く、次いで30.5%で「10分～30分未満」だった。性別では男性が「30分～1時間未満」、女性は「10分～30分未満」が多い。年代別で見ると、20代、50代、60代が「30分～1時間未満」、30代、40代は「10分～30分未満」が多い。世帯年収別では、1,000万～1,200万未満が「10分～30分未満」、1,200万～1,400万未満、1,400万以上では「30分～1時間未満」が多い。



- 仕事・子育て・家事などに忙しい40代は運動時間が短い傾向にある。
- 世帯年収の高い層が、やや運動時間が長い傾向がある。

		該当数	10分未満	10～30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間以上
全 体		197	10.7	30.5	32.5	20.3	6.1
性 別	男性	107	6.5	29.0	35.5	20.6	8.4
	女性	90	15.6	32.2	28.9	20.0	3.3
年 代	20代	35	8.6	28.6	40.0	17.1	5.7
	30代	39	12.8	35.9	25.6	20.5	5.1
	40代	37	8.1	37.8	29.7	18.9	5.4
	50代	43	14.0	23.3	37.2	18.6	7.0
	60代	43	9.3	27.9	30.2	25.6	7.0
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	64	12.5	43.8	26.6	9.4	7.8
	世帯年収1200万～1400万未満	73	16.4	20.5	32.9	26.0	4.1
	世帯年収1400万以上	60	1.7	28.3	38.3	25.0	6.7

3-3 アンケート結果 参考) 国民健康・栄養調査との比較

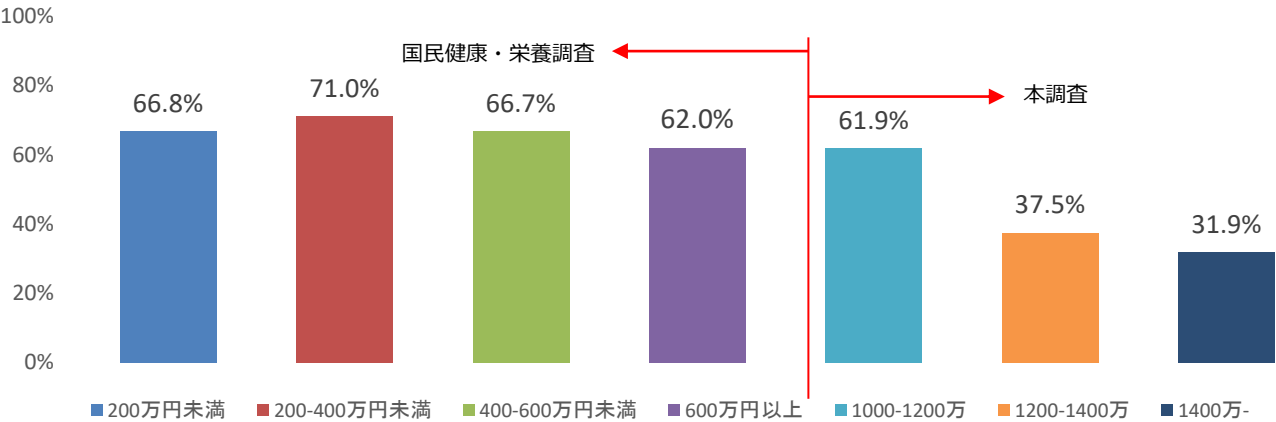
週2回以上運動している人の中で「Q 2 現在、健康のために日頃行っている運動はありますか？」で回答いただいたことについて、1 回あたりに費やす時間をお選びください。

		該当数	10分未満	10〜30分未満	30分〜1時間未満	1時間〜2時間未満	2時間以上	30分以上
全 体		145	15	47	48	27	8	83
世帯収入別 運動状況	1 0 0 0 ～ 1 2 0 0 万円未満 週2回以上	42	14.3	47.6	26.2	9.5	2.4	38.1
	1 2 0 0 ～ 1 4 0 0 万円未満 週2回以上	56	14.3	23.2	32.1	25.0	5.4	62.5
	1 4 0 0 万円以上 週2回以上	47	2.1	29.8	40.4	19.1	8.5	68.1

- 総じて、世帯収入高いと運動習慣が高いと言える。
- 特に年収1200万円以上の世帯においては運動習慣が著しく高い。

参考：国民健康・栄養調査（2020.1発表） & 本調査

世帯別運動習慣のない割合



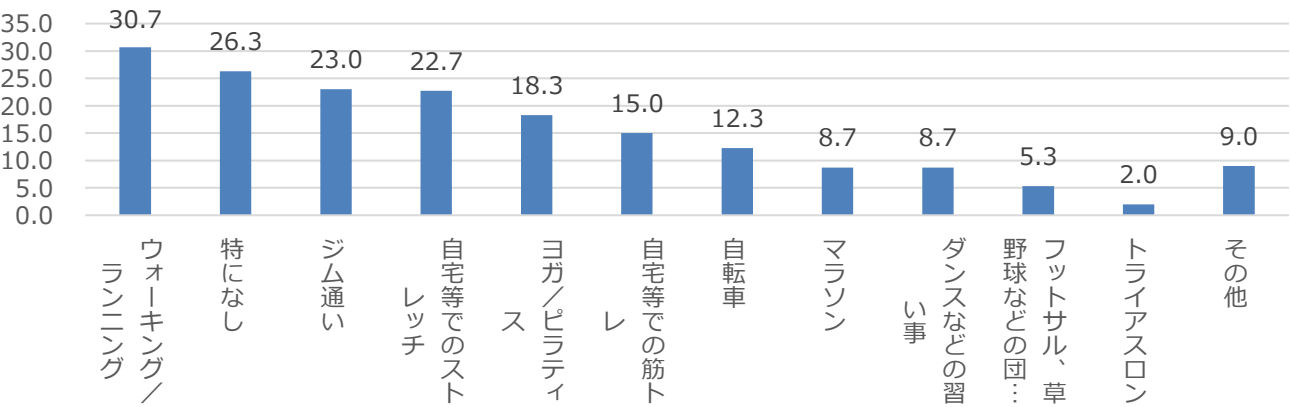
備考：

- 運動習慣がない= 1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上実施し、1 年以上継続していない者。
- 但し、本調査では「1年以上の継続」についての設問項目はないため、本調査での回答数には「1 回30分以上の運動を週2回1年未満継続している者」も含まれる。

3-3 アンケート結果 運動の種類

今後あなたがやってみたい運動・スポーツをお選びください。（複数回答可）

「ウォーキング/ランニング」が30.7%で最も回答が多かった。次いで23.0%で「ジム通い」。性別では男性が「ウォーキング/ランニング」、女性は「ウォーキング/ランニング」と「ヨガ/ピラティス」の回答が多い。年代別ではどの年代も「ウォーキング/ランニング」が多いが、30代では、「特になし」が最も回答が多い。世帯年収別では1,400万以上は「特になし」が多く、それ以外の年代は「ウォーキング/ランニング」が多かった。



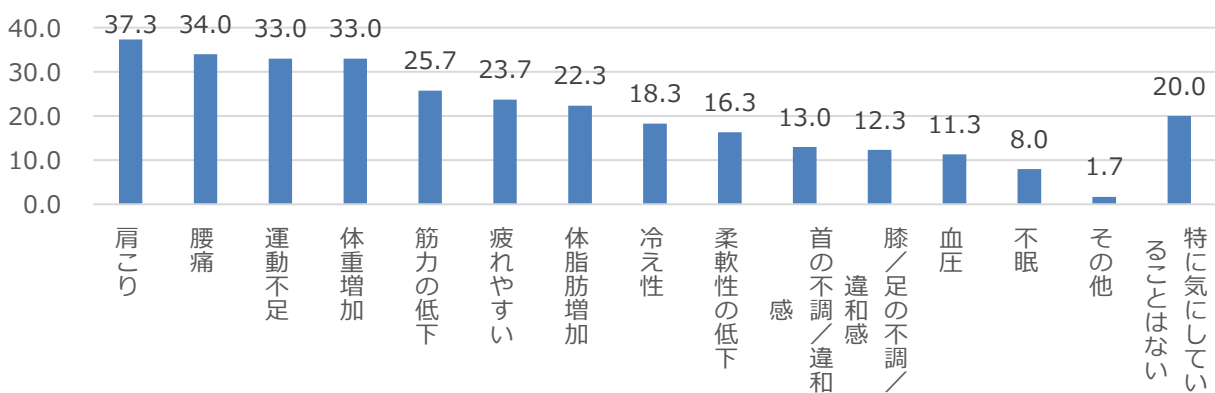
- 「特になし」を除いて、1-3位は「健康のために日頃行っている運動」と同じ内容。
- KCRでの日ごろの運動へのアドバイスはこの3点「ウォーキング/ランニング」、「ジムでの運動」、「ストレッチ」を想定するのがよい。

		該当数	ウォーキング/ランニング	ジム通い	自宅等でのストレッチ	ヨガ/ピラティス	自宅等での筋トレ	自転車	ダンスなどの習い事	マラソン	フットサル、草野球などの団体競技	トライアスロン	その他	特になし
全 体		300	30.7	23.0	22.7	18.3	15.0	12.3	8.7	8.7	5.3	2.0	9.0	26.3
性別	男性	157	29.9	26.8	17.2	6.4	14.6	17.2	1.3	11.5	8.3	3.2	11.5	28.0
	女性	143	31.5	18.9	28.7	31.5	15.4	7.0	16.8	5.6	2.1	0.7	6.3	24.5
年代	20代	47	25.5	19.1	25.5	17.0	23.4	8.5	14.9	17.0	14.9	2.1	10.6	23.4
	30代	61	26.2	27.9	21.3	14.8	18.0	9.8	6.6	4.9	3.3	0.0	3.3	34.4
	40代	63	39.7	25.4	27.0	20.6	19.0	17.5	12.7	6.3	6.3	1.6	9.5	25.4
	50代	74	31.1	24.3	24.3	20.3	9.5	10.8	5.4	12.2	2.7	5.4	5.4	25.7
	60代	55	29.1	16.4	14.5	18.2	7.3	14.5	5.5	3.6	1.8	0.0	18.2	21.8
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	31.0	22.0	27.0	23.0	17.0	10.0	8.0	9.0	3.0	2.0	9.0	22.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	32.0	26.0	24.0	11.0	17.0	13.0	13.0	8.0	6.0	2.0	10.0	24.0
	世帯年収1400万以上	100	29.0	21.0	17.0	21.0	11.0	14.0	5.0	9.0	7.0	2.0	8.0	33.0

3-3 アンケート結果 健康についての意識

現在、健康について気になっていることをお選びください。（複数回答可）

健康で気になる点は「肩こり」が最も回答が多く37.3%。次いで「腰痛」34.0%、「運動不足」と「体重増加」が33.0%となる。性別では、男性が「腰痛」、「体重増加」が33.1%で最も高く、女性では45.5%で「肩こり」が多い。年代別では、20代～40代は「肩こり」、50代以上は「腰痛」が多い。世帯年収別でみると、回答が多かったのが1,000万～1,200万未満が「肩こり」、1,200万～1,400万未満が「腰痛」、1,400万以上が「体重増加」だった。



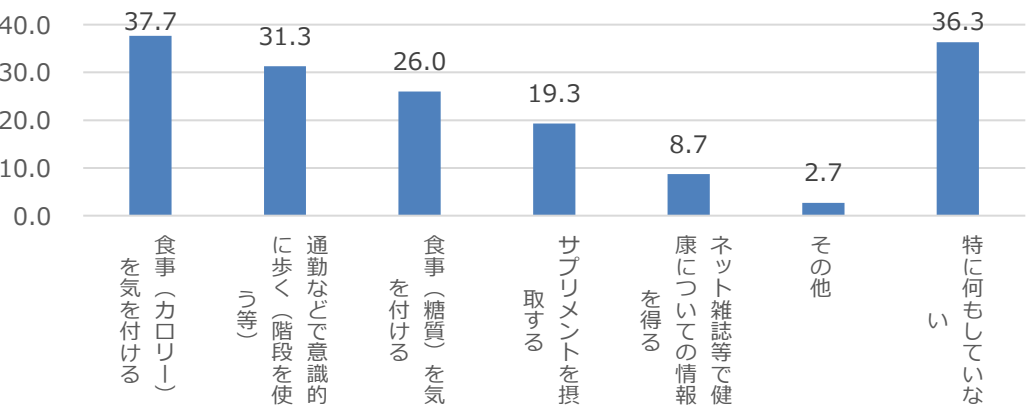
- 肩こりは若い世代の悩みとして多く、腰痛は40代以上。
- 40代が運動不足、体重増加についてかなり気になっており、身体の変化と忙しい生活スタイルにギャップを感じる世代といえる。
- 睡眠に関しては予想よりも関心が低い印象。

		該当数	肩こり	腰痛	運動不足	体重増加	筋力の低下	疲れやすい	体脂肪増加	冷え性	柔軟性の低下	首の不調／違和感	膝／足の不調／違和感	血圧	不眠	その他	特に関心していない
全 体		300	37.3	34.0	33.0	33.0	25.7	23.7	22.3	18.3	16.3	13.0	12.3	11.3	8.0	1.7	20.0
性別	男性	157	29.9	33.1	31.8	33.1	24.2	20.4	28.0	9.6	13.4	9.6	10.8	16.6	7.6	3.2	24.8
	女性	143	45.5	35.0	34.3	32.9	27.3	27.3	16.1	28.0	19.6	16.8	14.0	5.6	8.4	0.0	14.7
年代	20代	47	40.4	21.3	36.2	31.9	29.8	25.5	21.3	14.9	12.8	12.8	14.9	6.4	8.5	0.0	19.1
	30代	61	39.3	29.5	26.2	31.1	19.7	29.5	21.3	19.7	16.4	9.8	6.6	3.3	8.2	0.0	34.4
	40代	63	47.6	34.9	46.0	44.4	20.6	28.6	27.0	19.0	15.9	17.5	7.9	9.5	9.5	6.3	9.5
	50代	74	29.7	40.5	32.4	29.7	27.0	21.6	23.0	20.3	16.2	13.5	18.9	16.2	10.8	0.0	18.9
	60代	55	30.9	40.0	23.6	27.3	32.7	12.7	18.2	16.4	20.0	10.9	12.7	20.0	1.8	1.8	18.2
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	44.0	32.0	35.0	34.0	29.0	29.0	24.0	19.0	23.0	18.0	13.0	12.0	6.0	2.0	13.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	35.0	37.0	35.0	30.0	28.0	26.0	19.0	21.0	15.0	13.0	11.0	11.0	6.0	3.0	18.0
	世帯年収1400万以上	100	33.0	33.0	29.0	35.0	20.0	16.0	24.0	15.0	11.0	8.0	13.0	11.0	12.0	0.0	29.0

3-3 アンケート結果 健康維持の取り組み（運動以外）

運動以外で健康維持のために取り組んでいることはありますか？（複数回答可）

全体では「食事（カロリー）を気を付ける」が37.7%、「通勤などで意識的に歩く（階段を使う等）」が31.3%の順で回答が多い。  
性別では、男性が「特に何もしていない」、女性が「食事（カロリー）を気を付ける」が多く、年代別で見ると、20代と60代が「通勤などで意識的に歩く（階段を使う等）」の回答が多く、40代・50代は「食事（カロリー）を気を付ける」が多い。世帯収入別では1,400万以上のみ「特に何もしていない」が多い。



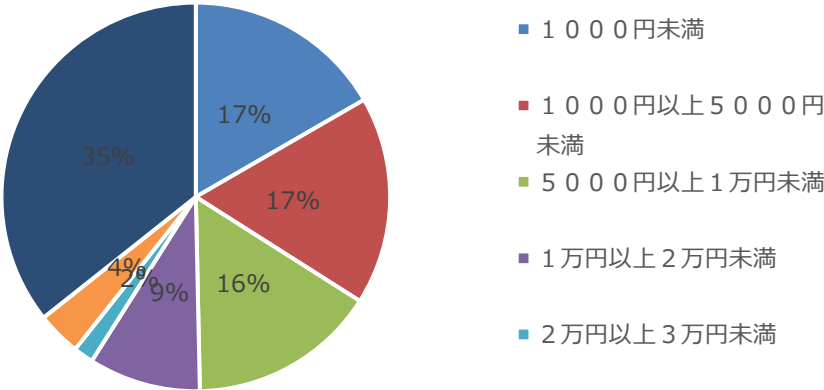
- 食事に対する意識は高いため、KCRの内容にも「食事(カロリー、糖質)」に関するものが盛り込めるとよい。

		該当数	食事（カロリー）を気を付ける	通勤などで意識的に歩く（階段を使う等）	食事（糖質）を気を付ける	サプリメントを摂取する	ネット雑誌等で健康についての情報を得る	その他	特に何もしていない
全 体		300	37.7	31.3	26.0	19.3	8.7	2.7	36.3
性 別	男性	157	38.9	30.6	23.6	14.6	6.4	2.5	43.3
	女性	143	36.4	32.2	28.7	24.5	11.2	2.8	28.7
年 代	20代	47	36.2	38.3	23.4	27.7	12.8	0.0	34.0
	30代	61	26.2	23.0	27.9	16.4	6.6	1.6	49.2
	40代	63	42.9	23.8	22.2	17.5	7.9	3.2	39.7
	50代	74	43.2	29.7	33.8	14.9	13.5	1.4	28.4
	60代	55	38.2	45.5	20.0	23.6	1.8	7.3	30.9
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	37.0	33.0	27.0	21.0	7.0	2.0	33.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	38.0	37.0	29.0	21.0	11.0	1.0	35.0
	世帯年収1400万以上	100	38.0	24.0	22.0	16.0	8.0	5.0	41.0

3-3 アンケート結果 健康のための消費額

毎月、健康のために使っている金額をお選びください。

全体では「お金を使っていない」が最も回答が多く、「1,000円以上5,000円未満」が次いで多かった。性別ではどちらも「お金を使っていない」が多く、次いで男性では「1,000円以上5,000円未満」、女性では「1,000円未満」が多い。世帯収入別ではどの年代も「お金は使っていない」の回答が高い。



・世帯年収別の大きな傾向はみられないが、世帯年収1,400万以上の層では「3万円以上」が8.0%と突出している。

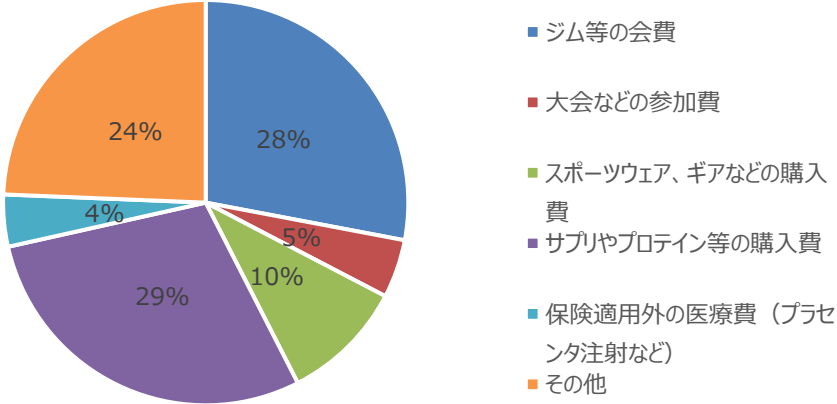
		該当数	1,000円未満	1,000円以上5,000円未満	5,000円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上	お金は使っていない
全 体		300	16.7	17.3	15.7	9.3	1.7	3.7	35.7
性別	男性	157	14.0	19.1	15.9	8.3	1.3	4.5	36.9
	女性	143	19.6	15.4	15.4	10.5	2.1	2.8	34.3
年代	20代	47	14.9	12.8	25.5	12.8	0.0	4.3	29.8
	30代	61	18.0	9.8	16.4	9.8	0.0	6.6	39.3
	40代	63	15.9	20.6	3.2	6.3	1.6	3.2	49.2
	50代	74	18.9	18.9	17.6	4.1	1.4	2.7	36.5
	60代	55	14.5	23.6	18.2	16.4	5.5	1.8	20.0
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	11.0	21.0	21.0	7.0	0.0	1.0	39.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	24.0	16.0	13.0	9.0	3.0	2.0	33.0
	世帯年収1400万以上	100	15.0	15.0	13.0	12.0	2.0	8.0	35.0



3-3 アンケート結果 健康のための消費額(利用用途)

「毎月、健康のために使っている金額をお選びください。」で回答いただいた費用の主な利用用途をお選びください。

全体では「サプリやプロテイン等の購入費」が29.0%で最も回答が多い。次いで28.0%で「ジム等の会費」が続く。性別では男性の回答が「スポーツウェア、ギアなどの購入費」が女性と比べると10%以上多い。年代では20代・30代が「ジム等の会費」、40代～60代は「サプリやプロテイン等の購入費」が多かった。世帯収入別の回答では1,400万以上が「ジム等の会費」、それ以外は「サプリやプロテイン等の購入費」が多い。



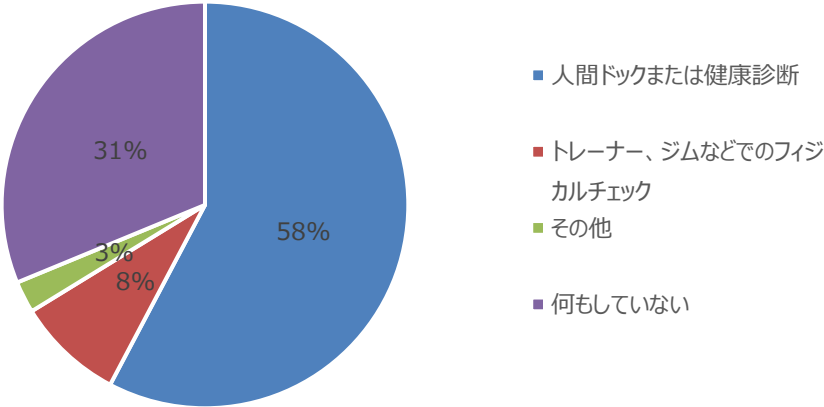
- 40代-60代にサプリ・プロテイン等の購入費が多いことから、KCRのメニューの中に沖縄の健康食品の紹介なども検討できる

		該当数	ジム等の会費	大会などの参加費	スポーツウェア、ギアなどの購入費	サプリやプロテイン等の購入費	保険適用外の医療費（プラセリント注射など）	その他
全 体		193	28.0	4.7	9.8	29.0	4.1	24.4
性 別	男性	99	25.3	4.0	15.2	26.3	4.0	25.3
	女性	94	30.9	5.3	4.3	31.9	4.3	23.4
年 代	20代	33	30.3	9.1	9.1	33.3	3.0	15.2
	30代	37	35.1	5.4	10.8	16.2	5.4	27.0
	40代	32	21.9	6.3	12.5	37.5	6.3	15.6
	50代	47	23.4	4.3	6.4	27.7	4.3	34.0
	60代	44	29.5	0.0	11.4	31.8	2.3	25.0
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	61	31.1	6.6	6.6	34.4	3.3	18.0
	世帯年収1200万～1400万未満	67	22.4	4.5	14.9	26.9	1.5	29.9
	世帯年収1400万以上	65	30.8	3.1	7.7	26.2	7.7	24.6

3-3 アンケート結果 健康チェック

定期的に（1年に1回等）身体の変化に関してどのようなチェックをしていますか？（複数回答可）

「人間ドックまたは健康診断」が61.0%で半数以上の回答となった。性別、年代、世帯収入で見ても「人間ドックまたは健康診断」が多い。20代・30代では「トレーナー、ジムなどでのフィジカルチェック」が40代以上と比べると回答が多い。世帯収入別では大きな差は見られない。



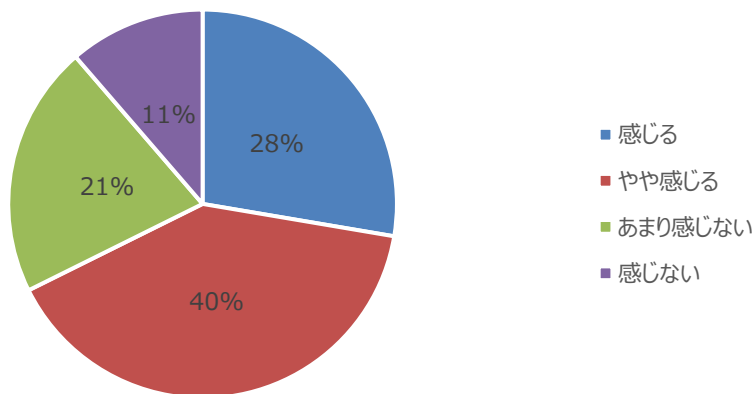
- KCRのターゲットとしては、①「人間ドック/健康診断のみの50-60代」に対するConditioning、もしくは②「普段トレーナーやジムなどでフィジカルチェックを受けている20-30代」に対する沖縄ならではのサービス提供の可能性が検討できる。

		該当数	人間ドックまたは健康診断	トレーナー、ジムなどでのフィジカルチェック	その他	何もしていない
全 体		300	61.0	9.0	2.7	33.0
性別	男性	157	65.6	7.6	3.8	28.7
	女性	143	55.9	10.5	1.4	37.8
年代	20代	47	42.6	14.9	2.1	44.7
	30代	61	57.4	14.8	1.6	34.4
	40代	63	60.3	6.3	3.2	34.9
	50代	74	68.9	8.1	4.1	27.0
	60代	55	70.9	1.8	1.8	27.3
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	54.0	11.0	2.0	37.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	64.0	8.0	3.0	30.0
	世帯年収1400万以上	100	65.0	8.0	3.0	32.0

## 3-3 アンケート結果 運動能力チェックへの関心

**成人についても、運動能力（※学生時代の体カテストのイメージ）に関しての定期的なチェックが必要だと感じますか？**

「やや感じる」が最も回答が多く40.0%。次いで「感じる」27.7%、「感じる」と「やや感じる」の肯定的な回答は67.7%となる。年代・世帯収入別でも「やや感じる」が最も回答が多く、「感じる」の回答が続く。



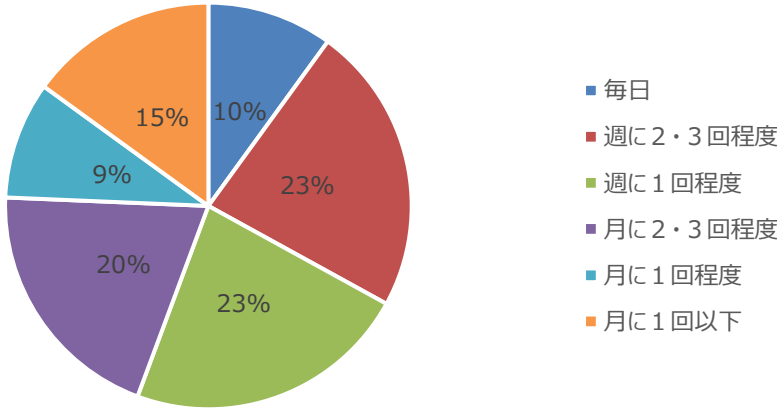
- 全体的に肯定的な意見が多いため、KCRのサービスメニューの中の位置づけを検討する。
- 肯定的な意見が多いが、30代では「感じない」も多かった。

		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	27.7	40.0	21.0	11.3
性 別	男性	157	28.7	36.3	23.6	11.5
	女性	143	26.6	44.1	18.2	11.2
年 代	20代	47	25.5	40.4	25.5	8.5
	30代	61	24.6	39.3	14.8	21.3
	40代	63	30.2	39.7	19.0	11.1
	50代	74	25.7	43.2	18.9	12.2
	60代	55	32.7	36.4	29.1	1.8
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	23.0	47.0	21.0	9.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	30.0	35.0	21.0	14.0
	世帯年収1400万以上	100	30.0	38.0	21.0	11.0

3-3 アンケート結果 外食頻度

普段、あなたはどれくらいの頻度で外食されますか？

外食は「週に2・3回程度」が23.0%で最も高い。性別では、女性と比べると男性の方が外食される回数が多い。週に1回以上外食しているのは年代別では20代、世帯収入別では、あまり変化は見られなかった。



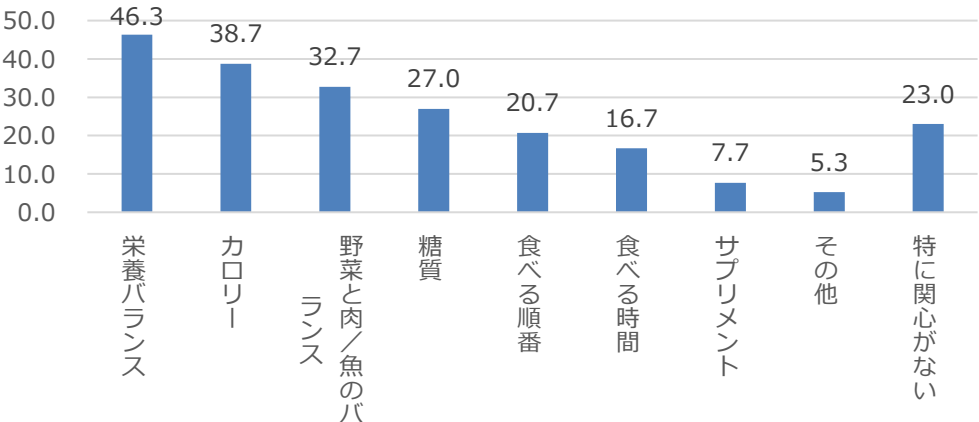
- 世代別にみると、年齢が上がるほど外食の頻度が下がっているイメージ
- 世帯年収が高い＝外食の頻度が高いわけではないことがわかった。

		該当数	毎日	週に2・3回程度	週に1回程度	月に2・3回程度	月に1回程度	月に1回以下
全 体		300	10.0	23.0	22.7	20.0	9.3	15.0
性別	男性	157	15.9	28.0	16.6	19.1	5.7	14.6
	女性	143	3.5	17.5	29.4	21.0	13.3	15.4
年代	20代	47	8.5	25.5	27.7	23.4	6.4	8.5
	30代	61	6.6	24.6	21.3	21.3	11.5	14.8
	40代	63	11.1	22.2	25.4	25.4	1.6	14.3
	50代	74	13.5	23.0	20.3	12.2	14.9	16.2
	60代	55	9.1	20.0	20.0	20.0	10.9	20.0
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	11.0	21.0	25.0	21.0	12.0	10.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	9.0	24.0	25.0	21.0	7.0	14.0
	世帯年収1400万以上	100	10.0	24.0	18.0	18.0	9.0	21.0

3-3 アンケート結果 食の関心

あなたは食に関してどのようなことに関心がありますか？（複数回答可）

全体回答では「栄養バランス」が46.3%で最も回答が多い。性別ではどの回答も女性が多く、特に「栄養バランス」、「野菜と肉/魚のバランス」が男性と比べて大きな差があった。年代別では20代、50代、60代が「栄養バランス」、30代、40代は「カロリー」、世帯収入では全て「栄養バランス」との回答が多かった。



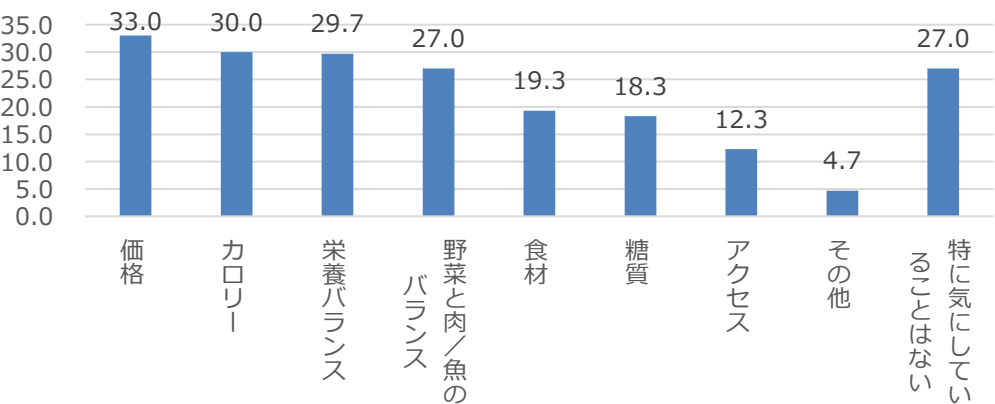
・ 栄養バランスやカロリーなどに対する関心が高いが、話題の「糖質」に関する関心はそこまで高くなかった。

		該当数	栄養バランス	カロリー	野菜と肉/魚のバランス	糖質	食べる順番	食べる時間	サプリメント	その他	特に関心がない
全 体		300	46.3	38.7	32.7	27.0	20.7	16.7	7.7	5.3	23.0
性別	男性	157	38.9	35.7	26.8	25.5	18.5	12.1	7.0	7.0	29.9
	女性	143	54.5	42.0	39.2	28.7	23.1	21.7	8.4	3.5	15.4
年代	20代	47	51.1	46.8	36.2	19.1	21.3	21.3	10.6	6.4	21.3
	30代	61	34.4	36.1	23.0	31.1	23.0	9.8	8.2	3.3	34.4
	40代	63	46.0	47.6	28.6	28.6	6.3	14.3	9.5	6.3	25.4
	50代	74	44.6	33.8	41.9	31.1	28.4	21.6	6.8	4.1	17.6
	60代	55	58.2	30.9	32.7	21.8	23.6	16.4	3.6	7.3	16.4
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	49.0	37.0	29.0	29.0	21.0	15.0	6.0	1.0	24.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	49.0	39.0	33.0	25.0	17.0	22.0	7.0	5.0	27.0
	世帯年収1400万以上	100	41.0	40.0	36.0	27.0	24.0	13.0	10.0	10.0	18.0

3-3 アンケート結果 外食時の関心

あなたは外食の際に、気にしていることはありますか？（複数回答可）

外食時に気になる点としては、「価格」、「カロリー」の回答が多い。性別では、男性が「価格」、女性が「栄養バランス」が多い。世帯収入別でみると、1,000万～1,200万未満が「価格」と「カロリー」との回答が多い。1,200万～1,400万未満だと「価格」、「栄養バランス」、1,400万以上では「価格」の回答が多い。



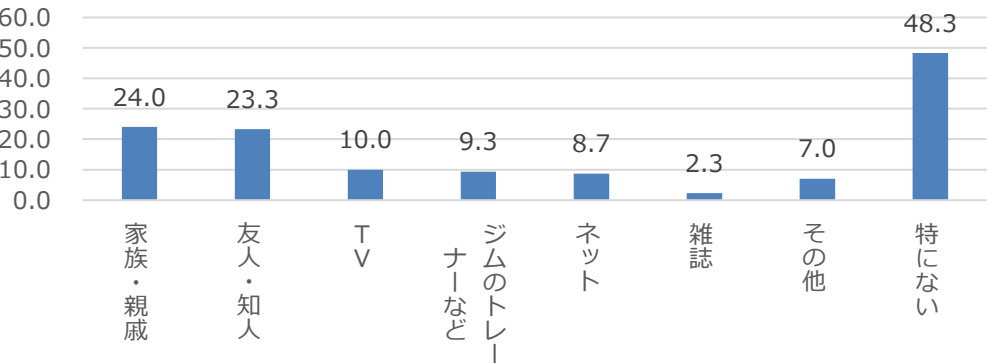
- 男女の差が比較的出た設問項目で、女性は「栄養バランス」「野菜と肉/魚のバランス」「食材」について気にしている。
- 女性の食材、バランスへの関心の高さに目をつけて「食」のプログラムを開発したい。

		該当数	価格	カロリー	栄養バランス	野菜と肉／魚のバランス	食材	糖質	アクセス	その他	特に気にしていない
全 体		300	33.0	30.0	29.7	27.0	19.3	18.3	12.3	4.7	27.0
性別	男性	157	31.2	28.7	20.4	20.4	14.6	19.7	11.5	5.1	31.8
	女性	143	35.0	31.5	39.9	34.3	24.5	16.8	13.3	4.2	21.7
年代	20代	47	27.7	27.7	34.0	34.0	14.9	14.9	10.6	2.1	29.8
	30代	61	37.7	23.0	29.5	23.0	18.0	23.0	11.5	1.6	36.1
	40代	63	31.7	38.1	28.6	20.6	19.0	17.5	14.3	4.8	22.2
	50代	74	36.5	32.4	29.7	31.1	23.0	24.3	12.2	5.4	23.0
	60代	55	29.1	27.3	27.3	27.3	20.0	9.1	12.7	9.1	25.5
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	30.0	30.0	27.0	26.0	18.0	23.0	11.0	1.0	28.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	37.0	32.0	37.0	26.0	16.0	16.0	13.0	4.0	26.0
	世帯年収1400万以上	100	32.0	28.0	25.0	29.0	24.0	16.0	13.0	9.0	27.0

3-3 アンケート結果 健康情報の入手方法

健康に関する情報はどこで入手しますか？（複数回答可）

全体で「特にない」との回答が男性は57.3%、女性は38.5%と最も多い。年代別では、20代～60代は「特にない」との回答が最も多い。世帯年収別でも「特にない」が最も多い。



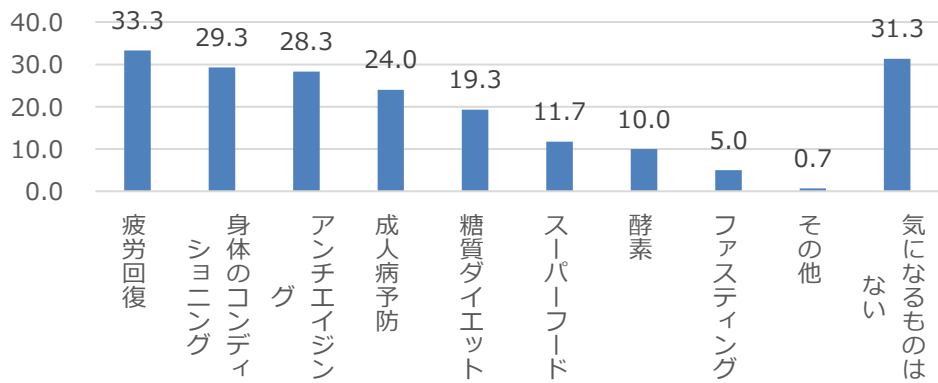
- 家族・親戚、友人・知人など身近なところからの情報を参考にしている。
- 想定していたネットからの情報取得はあまり多くない。
- 「特にない」も半数弱と多いが意識的に「健康に関する情報を入手する」というよりは、日ごろの会話などからそれらを得ていると考えられる。

		該当数	家族・親戚	友人・知人	T V	ジムのトレーナーなど	ネット	雑誌	その他	特にない
全 体		300	24.0	23.3	10.0	9.3	8.7	2.3	7.0	48.3
性 別	男性	157	21.7	15.9	8.3	8.3	7.0	2.5	4.5	57.3
	女性	143	26.6	31.5	11.9	10.5	10.5	2.1	9.8	38.5
年 代	2 0 代	47	21.3	29.8	6.4	17.0	12.8	4.3	4.3	44.7
	3 0 代	61	29.5	21.3	8.2	13.1	9.8	0.0	3.3	50.8
	4 0 代	63	17.5	12.7	7.9	7.9	6.3	1.6	3.2	61.9
	5 0 代	74	28.4	28.4	12.2	6.8	6.8	1.4	10.8	41.9
	6 0 代	55	21.8	25.5	14.5	3.6	9.1	5.5	12.7	41.8
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	20.0	21.0	9.0	10.0	7.0	1.0	7.0	51.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	26.0	22.0	10.0	8.0	12.0	2.0	4.0	52.0
	世帯年収1400万以上	100	26.0	27.0	11.0	10.0	7.0	4.0	10.0	42.0

3-3 アンケート結果 関心のある健康トピックス

健康に関する情報について、あなたが気になるトピックスをお選びください。（複数回答可）

全体で男性は「疲労回復」との回答が29.9%、女性は「アンチエイジング」が38.5%と最も多い。年代別では、20代・40代・50代は「疲労回復」、30代は「気になるものはない」、60代は「アンチエイジング」との回答が最も多い。世帯年収別では「疲労回復」が最も多い。



- ・ コンディショニングについても3割弱が気になっている。
- ・ 疲労回復については想定していた40代以上より20代の関心が高い。

		該当数	疲労回復	身体のコディグ	アンチエイジング	成人病予防	糖質ダイエット	スーパーフード	酵素	ファスティング	その他	気になるものはない
全 体		300	33.3	29.3	28.3	24.0	19.3	11.7	10.0	5.0	0.7	31.3
性 別	男性	157	29.9	26.8	19.1	23.6	17.8	5.7	4.5	2.5	1.3	36.3
	女性	143	37.1	32.2	38.5	24.5	21.0	18.2	16.1	7.7	0.0	25.9
年 代	20代	47	42.6	25.5	21.3	19.1	19.1	17.0	10.6	8.5	0.0	34.0
	30代	61	31.1	26.2	24.6	18.0	23.0	13.1	14.8	6.6	0.0	39.3
	40代	63	36.5	36.5	28.6	22.2	17.5	6.3	9.5	6.3	0.0	33.3
	50代	74	33.8	25.7	29.7	33.8	20.3	13.5	6.8	2.7	0.0	29.7
	60代	55	23.6	32.7	36.4	23.6	16.4	9.1	9.1	1.8	3.6	20.0
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	41.0	25.0	28.0	24.0	17.0	14.0	8.0	6.0	0.0	31.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	31.0	34.0	29.0	25.0	17.0	13.0	11.0	5.0	1.0	34.0
	世帯年収1400万以上	100	28.0	29.0	28.0	23.0	24.0	8.0	11.0	4.0	1.0	29.0



## 3－3 アンケート結果

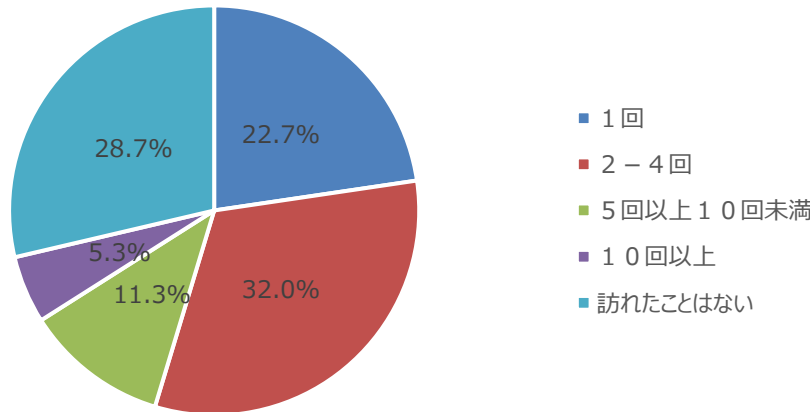
---

### 2. 沖縄についての設問

3-3 アンケート結果 沖縄来訪率

沖縄を訪れたことがありますか？

来沖経験は男性は訪れたことが無いとの回答が33.1%、女性は2～4回が37.8%で最も多い。年代別では、20代・30代は2～4回、40代・60代は1回、50代は訪れたことが無いが最も多い。世帯収入別では、2～4回の回答が多い。



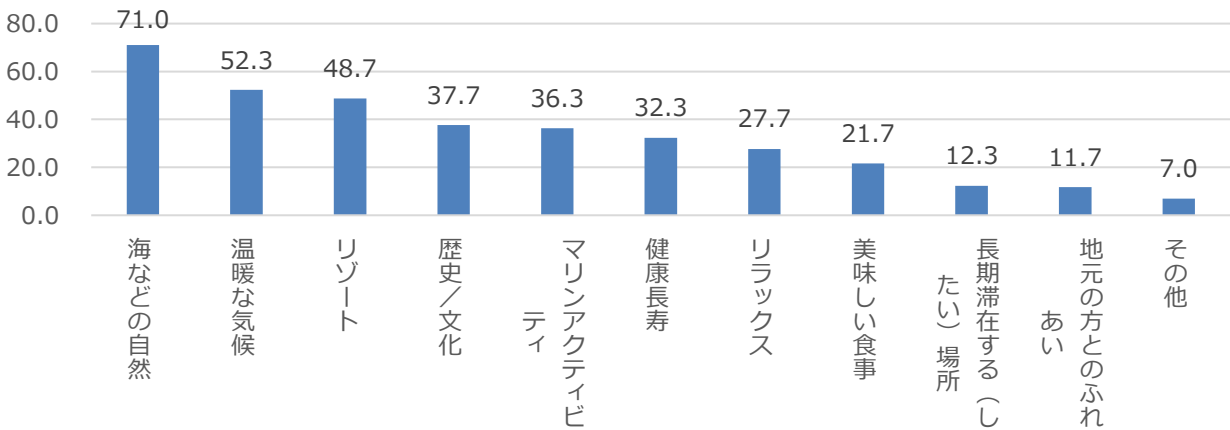
		該当数	1回	2～4回	5回以上10回未満	10回以上	訪れたことはない
全 体		300	22.7	32.0	11.3	5.3	28.7
性 別	男性	157	20.4	26.8	11.5	8.3	33.1
	女性	143	25.2	37.8	11.2	2.1	23.8
年 代	20代	47	12.8	44.7	10.6	4.3	27.7
	30代	61	13.1	36.1	8.2	8.2	34.4
	40代	63	33.3	28.6	11.1	3.2	23.8
	50代	74	14.9	31.1	12.2	8.1	33.8
	60代	55	40.0	21.8	14.5	1.8	21.8
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	23.0	35.0	10.0	4.0	28.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	22.0	33.0	13.0	2.0	30.0
	世帯年収1400万以上	100	23.0	28.0	11.0	10.0	28.0

- KCRのターゲットは、来沖数2回以上の合計48.6%と考えられる
- 世帯年収1,400万以上のグループでは、10回以上が10%を占めるため、こちらもターゲットとなりうる。

3-3 アンケート結果 沖縄のイメージ

沖縄のイメージをお知らせください。（複数回答可）

沖縄のイメージは全体では「海などの自然」との回答が男性72%、女性69.9%と最も多い。年代別では、20代～70代が「海などの自然」との回答が最も多い。世帯年収別でも「海などの自然」が最も多い。



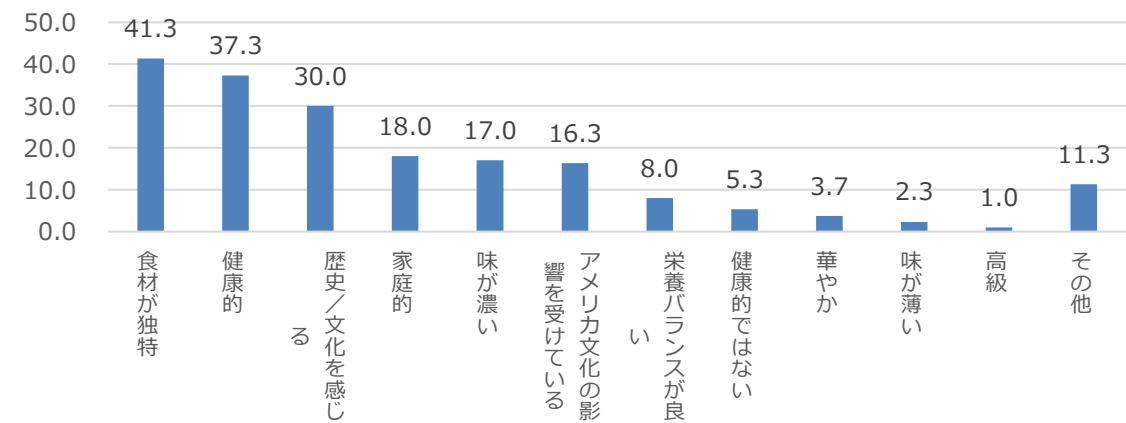
一般的な沖縄のイメージがついているが、「健康長寿」についても特に60代以上において一定のイメージがついている

		該当数	海などの自然	温暖な気候	リゾート	歴史／文化	マリンアクティビティ	健康長寿	リラックス	美味しい食事	長期滞在する（したい）場所	地元の方とのふれあい	その他
全 体		300	71.0	52.3	48.7	37.7	36.3	32.3	27.7	21.7	12.3	11.7	7.0
性 別	男性	157	72.0	50.3	47.1	35.0	29.9	27.4	25.5	22.3	10.8	6.4	8.3
	女性	143	69.9	54.5	50.3	40.6	43.4	37.8	30.1	21.0	14.0	17.5	5.6
年 代	20代	47	61.7	42.6	44.7	31.9	51.1	14.9	36.2	31.9	19.1	23.4	4.3
	30代	61	67.2	55.7	55.7	39.3	42.6	34.4	44.3	19.7	16.4	9.8	11.5
	40代	63	71.4	52.4	44.4	36.5	30.2	33.3	19.0	19.0	1.6	7.9	7.9
	50代	74	74.3	54.1	50.0	39.2	33.8	35.1	21.6	17.6	12.2	13.5	6.8
	60代	55	78.2	54.5	47.3	40.0	27.3	40.0	20.0	23.6	14.5	5.5	3.6
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	75.0	52.0	42.0	36.0	35.0	28.0	22.0	17.0	10.0	14.0	6.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	72.0	57.0	52.0	41.0	43.0	42.0	32.0	28.0	15.0	15.0	8.0
	世帯年収1400万以上	100	66.0	48.0	52.0	36.0	31.0	27.0	29.0	20.0	12.0	6.0	7.0

3-3 アンケート結果 沖縄の食に対するイメージ

沖縄の「食」に関するイメージはどのようなものですか？（複数回答可）

沖縄の食に関するイメージは「食材が独特」が41.3%で最も回答が多い。次いで「健康的」、「歴史/文化を感じる」が続く。性別では共に「食材が豊富」、「健康的」、「歴史/文化を感じる」の順で回答が多かった。年代別では20代、30代が「食材が独特」、40代以上が「健康的」との回答が多かった。世帯収入別では1,200万～1,400万未満が「健康的」、それ以外では「食材が独特」との回答が多い。



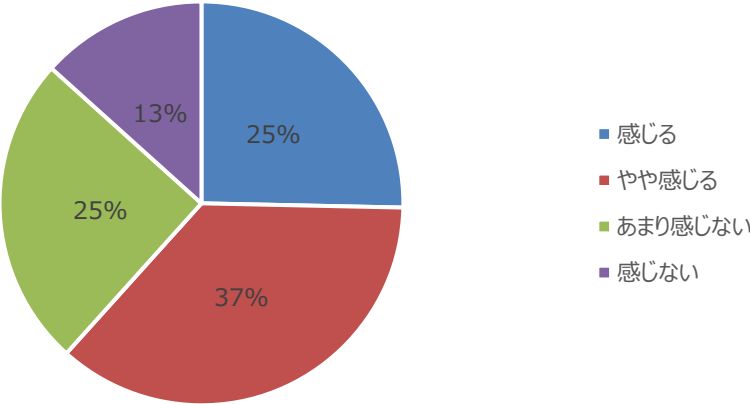
「食材が独特」で「健康的」なイメージを持っていることは、食のプログラムの他地域との差別化要因となりうる。

		該当数	食材が独特	健康的	歴史／文化を感じる	家庭的	味が濃い	アメリカ文化の影響を受けている	栄養バランスが良い	健康的ではない	味が薄い	高級	華やか	その他
全 体		300	41.3	37.3	30.0	18.0	17.0	16.3	8.0	5.3	2.3	1.0	3.7	11.3
性別	男性	157	36.9	33.8	22.9	14.0	19.7	15.3	7.6	7.0	0.6	1.9	3.8	13.4
	女性	143	46.2	41.3	37.8	22.4	14.0	17.5	8.4	3.5	4.2	0.0	3.5	9.1
年代	20代	47	48.9	23.4	42.6	17.0	17.0	10.6	6.4	2.1	2.1	0.0	10.6	4.3
	30代	61	39.3	27.9	26.2	16.4	16.4	14.8	6.6	4.9	4.9	1.6	3.3	14.8
	40代	63	38.1	44.4	25.4	17.5	7.9	15.9	6.3	4.8	0.0	1.6	4.8	11.1
	50代	74	40.5	40.5	31.1	20.3	18.9	17.6	8.1	8.1	2.7	1.4	1.4	14.9
	60代	55	41.8	47.3	27.3	18.2	25.5	21.8	12.7	5.5	1.8	0.0	0.0	9.1
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	42.0	31.0	29.0	22.0	16.0	16.0	9.0	6.0	2.0	1.0	2.0	8.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	37.0	44.0	31.0	18.0	11.0	15.0	11.0	3.0	3.0	1.0	4.0	15.0
	世帯年収1400万以上	100	45.0	37.0	30.0	14.0	24.0	18.0	4.0	7.0	2.0	1.0	5.0	11.0

### 3-3 アンケート結果 沖縄の健康食への関心

#### 今後、沖縄に来た時は、健康に良い料理を食べたいと感じますか？

「感じる」と「やや感じる」の肯定的意見は全体で見ると61.6%。性別では、男性が50.9%、女性が73.5%で男性より20%以上も肯定的な回答が多かった。年代では60代のみ「感じる」の回答が最も高かった。世帯収入別では大きな差は見られなかった。



- 全体的に肯定的意見が多い。
- 男性より女性のほうが「来沖縄時の健康な料理」に対する関心が高い。

		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	25.3	36.3	25.0	13.3
性 別	男性	157	21.0	29.9	31.8	17.2
	女性	143	30.1	43.4	17.5	9.1
年 代	20代	47	19.1	40.4	29.8	10.6
	30代	61	18.0	42.6	24.6	14.8
	40代	63	19.0	44.4	23.8	12.7
	50代	74	29.7	32.4	27.0	10.8
	60代	55	40.0	21.8	20.0	18.2
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	22.0	40.0	23.0	15.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	27.0	34.0	27.0	12.0
	世帯年収1400万以上	100	27.0	35.0	25.0	13.0

## 3-3 アンケート結果

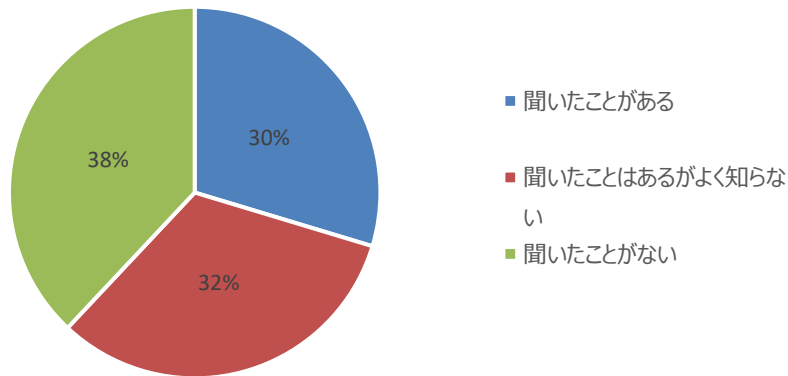
---

### 3. コンディショニング/滞在型ヘルスツーリズムについての設問

## 3-3 アンケート結果 コンディショニング認知率

### これまでにコンディショニングという言葉聞いたことはありますか？

全体で男性は「聞いたことがある」との回答が35.7%、女性は「聞いたことがない」が41.3%と最も多い。年代別では、20代・30代は「聞いたことがない」、40代・50代は「聞いたことはあるがよく知らない」、60代は「聞いたことがある」との回答が最も多い。世帯年収別では、「聞いたことがない」との回答が最も多い。



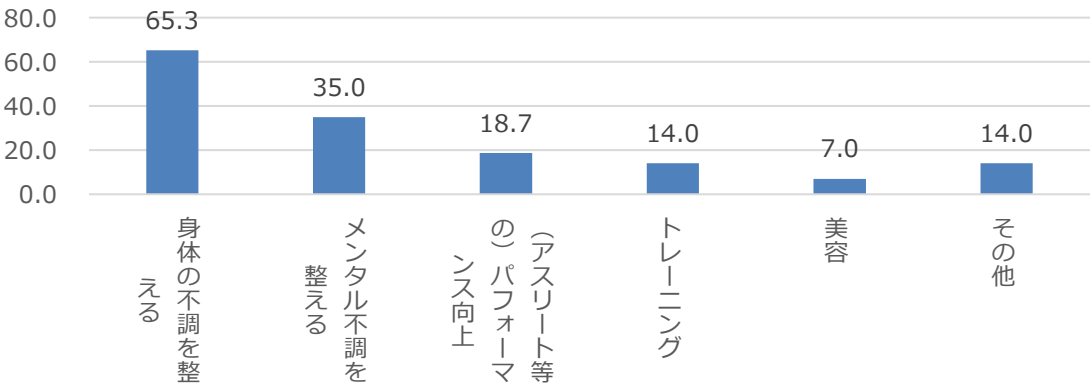
- コンディショニングについては、20代、30代が「聞いたことがない」という層が多く、60代では「聞いたことがある」が4割いる
- 世帯年収では、1,400万以上に認知率が高い

		該当数	聞いたことがある	聞いたことはあるがよく知らない	聞いたことがない
全 体		300	29.7	32.3	38.0
性 別	男性	157	35.7	29.3	35.0
	女性	143	23.1	35.7	41.3
年 代	20代	47	27.7	25.5	46.8
	30代	61	26.2	19.7	54.1
	40代	63	27.0	41.3	31.7
	50代	74	25.7	37.8	36.5
	60代	55	43.6	34.5	21.8
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	30.0	29.0	41.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	27.0	33.0	40.0
	世帯年収1400万以上	100	32.0	35.0	33.0

3-3 アンケート結果 **コンディショニング想起イメージ**

コンディショニングと聞いて何を想像しますか？（複数回答可）

全体で「身体の不調を整える」との回答が男性は66.2%、女性は64.3%と最も多い。年代別では、20代～60代でも「身体の不調を整える」との回答が最も多い。世帯年収別でも「身体の不調を整える」との回答が最も多い。



• 全体的に、アスリートのパフォーマンス向上というよりは、一般的な「身体の不調を整える」という理解がされている。

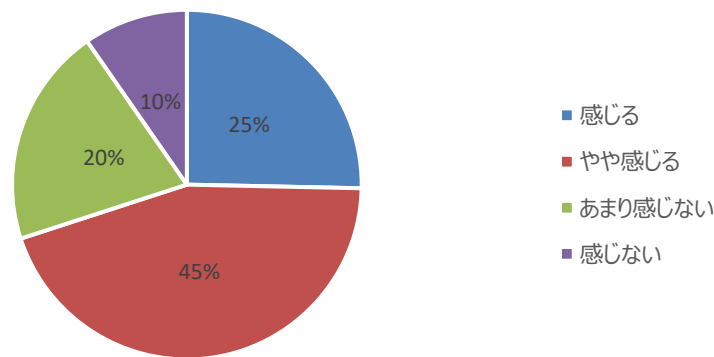
		該当数	身体の不調を整える	メンタル不調を整える	(アスリート等の) パフォーマンス向上	トレーニング	美容	その他
全 体		300	65.3	35.0	18.7	14.0	7.0	14.0
性 別	男性	157	66.2	33.8	21.0	15.3	5.7	13.4
	女性	143	64.3	36.4	16.1	12.6	8.4	14.7
年 代	20代	47	63.8	44.7	21.3	17.0	8.5	10.6
	30代	61	62.3	32.8	24.6	13.1	8.2	18.0
	40代	63	63.5	31.7	19.0	17.5	4.8	15.9
	50代	74	67.6	36.5	12.2	9.5	9.5	16.2
	60代	55	69.1	30.9	18.2	14.5	3.6	7.3
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	64.0	42.0	16.0	10.0	8.0	16.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	67.0	29.0	23.0	15.0	7.0	14.0
	世帯年収1400万以上	100	65.0	34.0	17.0	17.0	6.0	12.0



3-3 アンケート結果 スポーツ医科学への期待

スポーツ医科学について、アスリートだけではなく、一般の方々の健康に役立つものだと感じますか？

全体で「やや感じる」との回答が男性は45.2%、女性は44.1%と最も多い。年代別では、20代～60代が「やや感じる」との回答が最も多い。世帯年収別でも、「やや感じる」との回答が最も多い。



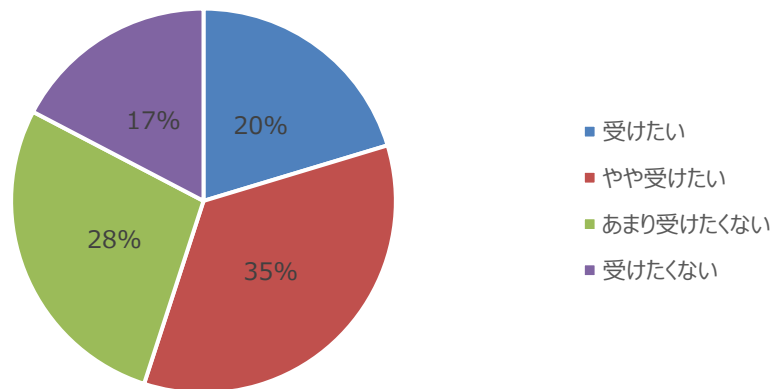
- 全体的に肯定的意見が多い。
- 30代に関しては「感じない」層も一定数いる。

		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	25.3	44.7	20.3	9.7
性 別	男性	157	21.7	45.2	22.3	10.8
	女性	143	29.4	44.1	18.2	8.4
年 代	20代	47	21.3	59.6	12.8	6.4
	30代	61	23.0	39.3	23.0	14.8
	40代	63	25.4	46.0	19.0	9.5
	50代	74	21.6	41.9	24.3	12.2
	60代	55	36.4	40.0	20.0	3.6
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	24.0	48.0	18.0	10.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	22.0	50.0	20.0	8.0
	世帯年収1400万以上	100	30.0	36.0	23.0	11.0

## 3-3 アンケート結果 スポーツ医科学アドバイスへの関心

### スポーツ医学を修めた専門医によるアドバイスや、国家資格である理学療法士保持者からの健康上のアドバイスを受けたいと思いますか？

全体で「やや受けたい」との回答が男性は32.5%、女性は37.1%と最も多い。年代別では、20代・40代・50代・60代は「やや受けたい」、30代は「あまり受けたくない」との回答が最も多い。世帯年収別では、「やや受けたい」が最も多い。



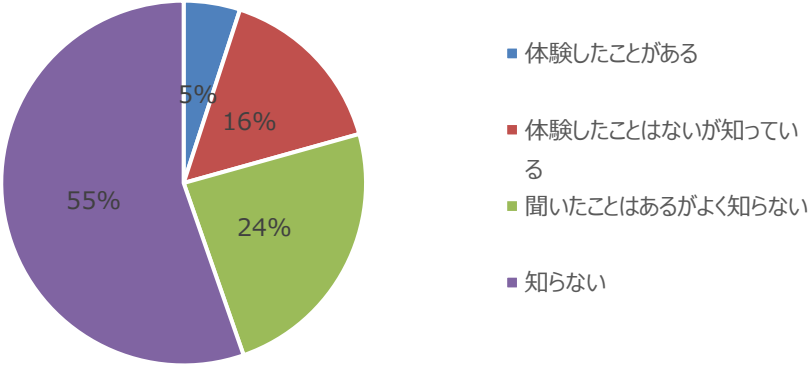
- 全体的に肯定的意見が多いが、30代は半数以上が「否定的」。
- 本調査の中で、30代は健康について「やってみたい運動」、「健康について取り組んでいること」の2項目において「特にない」が多いことから（p8、p9）、全体的に健康になることに関する関心が薄い可能性がある。

		該当数	受けたい	やや受けたい	あまり受けたくない	受けたくない
全 体		300	20.3	34.7	27.7	17.3
性別	男性	157	19.7	32.5	31.2	16.6
	女性	143	21.0	37.1	23.8	18.2
年代	20代	47	25.5	38.3	23.4	12.8
	30代	61	18.0	26.2	31.1	24.6
	40代	63	12.7	49.2	25.4	12.7
	50代	74	23.0	27.0	24.3	25.7
	60代	55	23.6	34.5	34.5	7.3
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	21.0	38.0	20.0	21.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	17.0	33.0	35.0	15.0
	世帯年収1400万以上	100	23.0	33.0	28.0	16.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム認知率

滞在型ヘルスツーリズム（宿泊をして、自分の体をチェックしたりメンテナンスをする旅行商品）を知っていますか？

全体で「知らない」との回答が男性は52.2%、女性は58.7%と最も多い。年代別では、20代～60代が「知らない」との回答が最も多い。世帯年収別では、「知らない」との回答が最も多い。



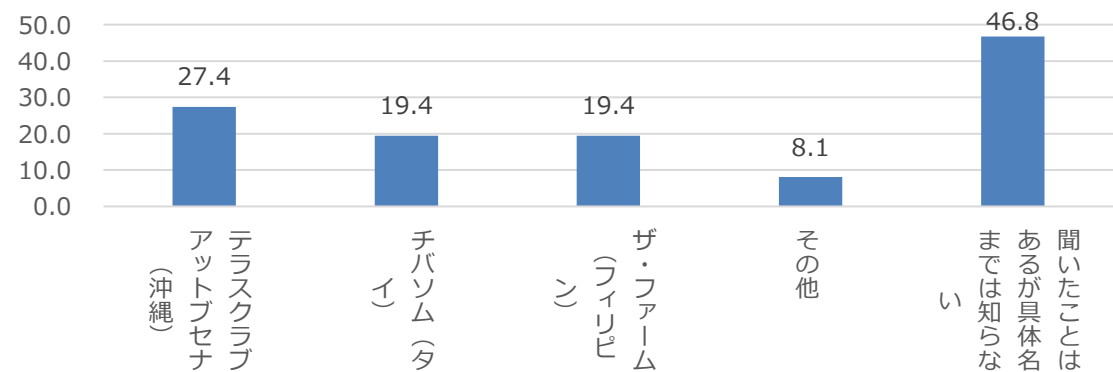
滞在型ヘルスツーリズムの認知はまだまだ低いことから、そもそもどんなものか？というプロモーションが重要。

		該当数	体験したことがある	体験したことはないが知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない
全 体		300	5.0	15.7	24.0	55.3
性 別	男性	157	4.5	17.8	25.5	52.2
	女性	143	5.6	13.3	22.4	58.7
年 代	2 0 代	47	8.5	23.4	14.9	53.2
	3 0 代	61	6.6	11.5	24.6	57.4
	4 0 代	63	4.8	9.5	28.6	57.1
	5 0 代	74	5.4	16.2	17.6	60.8
	6 0 代	55	0.0	20.0	34.5	45.5
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	7.0	14.0	23.0	56.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	3.0	16.0	27.0	54.0
	世帯年収1400万以上	100	5.0	17.0	22.0	56.0

3-3 アンケート結果 認知している滞在型ヘルスツーリズム

滞在型ヘルスツーリズム（宿泊をして、自分の体をチェックしたりメンテナンスをする旅行商品）について、  
ご存じのものをお選びください。（複数回答可）

全体で「聞いたことはあるが具体名までは知らない」との回答が最も多く男性51.4%、女性40.7%となった。年代別では、20代・40代・50代・60代が「聞いたことはあるが具体名までは知らない」、30代が「チバソム（タイ）」との回答が最も多い。世帯年収別では、「聞いたことはあるが具体名までは知らない」との回答が最も多い。

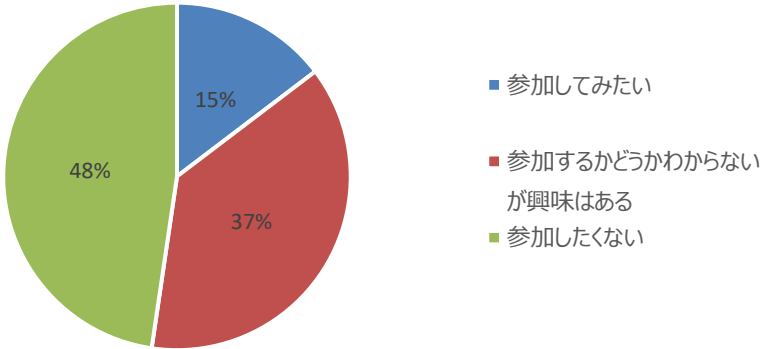


		該当数	テラスクラブアットブセナ (沖縄)	チバソム (タイ)	ザ・ファーム (フィリピン)	その他	聞いたことはあるが具体名までは知らない
全 体		62	27.4	19.4	19.4	8.1	46.8
性 別	男性	35	25.7	17.1	20.0	11.4	51.4
	女性	27	29.6	22.2	18.5	3.7	40.7
年 代	20代	15	20.0	13.3	26.7	0.0	53.3
	30代	11	27.3	45.5	18.2	9.1	27.3
	40代	9	33.3	11.1	11.1	0.0	55.6
	50代	16	37.5	25.0	25.0	18.8	37.5
	60代	11	18.2	0.0	9.1	9.1	63.6
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	21	19.0	19.0	28.6	0.0	52.4
	世帯年収1200万～1400万未満	19	36.8	15.8	21.1	15.8	36.8
	世帯年収1400万以上	22	27.3	22.7	9.1	9.1	50.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム参加意向

滞在型ヘルスツーリズムに参加してみたいと思いますか？

全体で「参加したくない」との回答が最も多く、男性が50.3%、女性が44.8%。年代別では、20代・30代・50代・60代は「参加したくない」、40代は「参加するかどうか分からないが興味はある」との回答が最も多い。世帯年収別では、「参加したくない」との回答が最も多い。



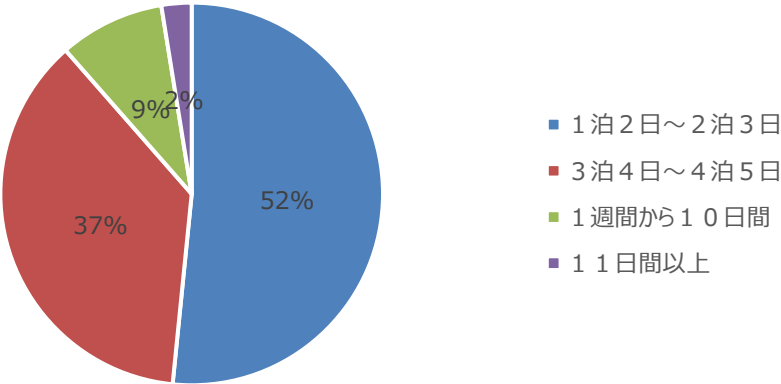
- 滞在型ヘルスツーリズムの認知が低いことが「参加したくない」に繋がっている可能性が高い。
- 今後、滞在型ヘルスツーリズム自体の市場がどうなっていくか、その中でKCRがどう差別化できるかがポイントとなる。

		該当数	参加してみたい	参加するかどうか分からないが興味はある	参加したくない
全 体		300	14.7	37.7	47.7
性 別	男性	157	14.6	35.0	50.3
	女性	143	14.7	40.6	44.8
年 代	20代	47	19.1	34.0	46.8
	30代	61	13.1	32.8	54.1
	40代	63	15.9	46.0	38.1
	50代	74	14.9	37.8	47.3
	60代	55	10.9	36.4	52.7
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	18.0	34.0	48.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	15.0	40.0	45.0
	世帯年収1400万以上	100	11.0	39.0	50.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム滞在規模期間

滞在型ヘルスツーリズムに参加する場合、どのくらい滞在したいですか？

全体では、「1泊2日～2泊3日」との回答が男性53.8%、女性49.4%と最も多い。年代別では、20代～60代も「1泊2日～2泊3日」の回答が最も多い。世帯年収別でも「1泊2日～2泊3日」との回答が最も多い。



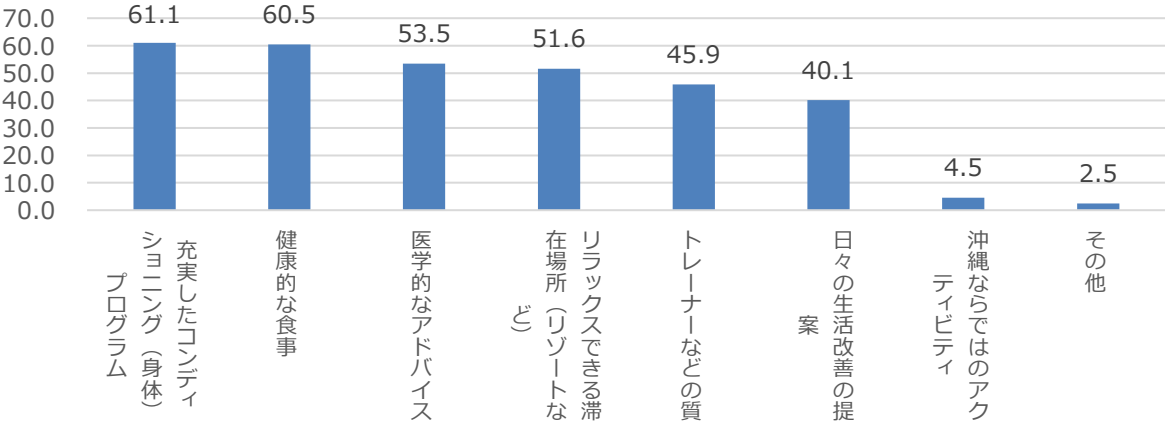
- 時間的に余裕のある60代は3泊～4泊が多くなっている。
- 世帯年収1400万以上では、1週間以上が全体の20%と他と比べて高い。

		該当数	1泊2日～2泊3日	3泊4日～4泊5日	1週間から10日間	11日間以上
全 体		157	51.6	36.9	8.9	2.5
性 別	男性	78	53.8	34.6	7.7	3.8
	女性	79	49.4	39.2	10.1	1.3
年 代	20代	25	52.0	36.0	12.0	0.0
	30代	28	57.1	39.3	0.0	3.6
	40代	39	59.0	33.3	5.1	2.6
	50代	39	48.7	28.2	20.5	2.6
	60代	26	38.5	53.8	3.8	3.8
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	52	53.8	36.5	7.7	1.9
	世帯年収1200万～1400万未満	55	50.9	43.6	5.5	0.0
	世帯年収1400万以上	50	50.0	30.0	14.0	6.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズムに期待するサービス

滞在型ヘルスツーリズムに参加する際、どのようなサービスを期待しますか？（複数回答可）

全体で男性は「医学的なアドバイス」との回答が56.4%、女性は「健康的な食事」が70.9%が最も多い。年代別では、20代・50代が「健康的な食事」、30代・40代・60代は「充実したコンディショニング（身体プログラム）」との回答が最も多い。世帯年収別では、1400万未満までは「充実したコンディショニング」が多く、1400万以上は「健康的な食事」が最も多い。



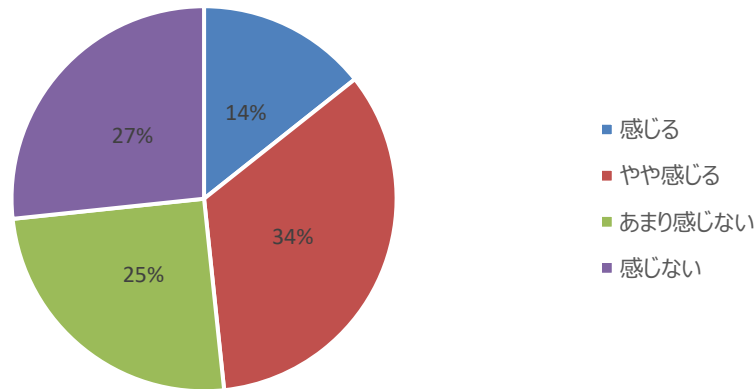
- KCRで中核サービスとする身体のプロプログラムについては期待値が高い。
- 食事については男女でかなり評価がわかる。
- 沖縄ならではのアクティビティについてはイメージが持てなかったからかなり低かった。

		該当数	充実したコンディショニング(身体プログラム)	健康的な食事	医学的なアドバイス	リラックスできる滞在場所(リゾートなど)	トレーナーなどの質	日々の生活改善の提案	沖縄ならではのアクティビティ	その他
全 体		157	61.1	60.5	53.5	51.6	45.9	40.1	4.5	2.5
性 別	男性	78	55.1	50.0	56.4	48.7	43.6	32.1	5.1	2.6
	女性	79	67.1	70.9	50.6	54.4	48.1	48.1	3.8	2.5
年 代	20代	25	48.0	64.0	56.0	44.0	60.0	52.0	8.0	0.0
	30代	28	71.4	50.0	57.1	67.9	46.4	35.7	3.6	3.6
	40代	39	71.8	61.5	46.2	53.8	35.9	38.5	0.0	2.6
	50代	39	51.3	61.5	51.3	43.6	43.6	30.8	5.1	2.6
	60代	26	61.5	65.4	61.5	50.0	50.0	50.0	7.7	3.8
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	52	65.4	55.8	48.1	55.8	44.2	34.6	1.9	5.8
	世帯年収1200万～1400万未満	55	65.5	61.8	58.2	49.1	50.9	38.2	5.5	0.0
	世帯年収1400万以上	50	52.0	64.0	54.0	50.0	42.0	48.0	6.0	2.0

## 3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム目的での来沖意向

### 滞在型ヘルスツーリズムを受けるために沖縄に行ってみたいと感じますか？

全体では「やや感じる」との回答が男性33.8%、女性34.3%と最も多い。年代別では、20代・40代・50代・60代は「やや感じる」、30代は「感じない」との回答が最も多い。世帯年収別では、「やや感じる」との回答が最も多い。



- 全体的に肯定的な意見が多い。
- 30代で否定的な意見が多い。(P25などと同様健康への取り組み意識が薄い)。
- 世帯年収では1200万～1400万の層で過半数が肯定的。

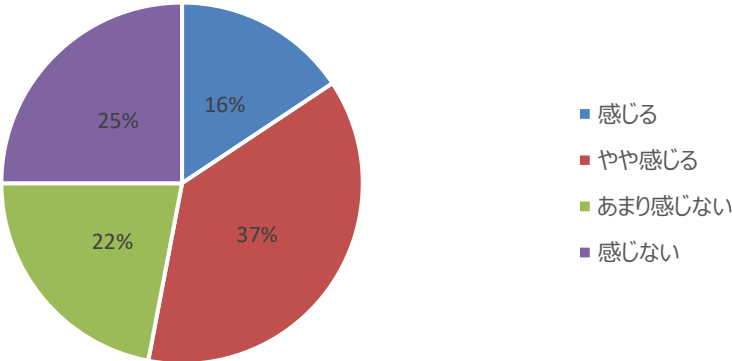
		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	14.3	34.0	25.0	26.7
性別	男性	157	11.5	33.8	27.4	27.4
	女性	143	17.5	34.3	22.4	25.9
年代	20代	47	17.0	40.4	25.5	17.0
	30代	61	13.1	27.9	21.3	37.7
	40代	63	12.7	38.1	31.7	17.5
	50代	74	14.9	32.4	21.6	31.1
	60代	55	14.5	32.7	25.5	27.3
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	17.0	29.0	29.0	25.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	13.0	44.0	22.0	21.0
	世帯年収1400万以上	100	13.0	29.0	24.0	34.0



3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム目的での来沖意向(沖縄コンテンツ付加)

沖縄らしいアクティビティや食・文化体験ができるのであれば、滞在型ヘルスツーリズムを受けるために  
沖縄に行ってみたいと感じますか？

全体では「やや感じる」との回答が男性35.7%、女性39.2%と最も多い。年代別では、20代・40代・50代・60代は「やや感じる」、30代は「感じない」が最も多い。世帯年収別では「やや感じる」が最も多い。



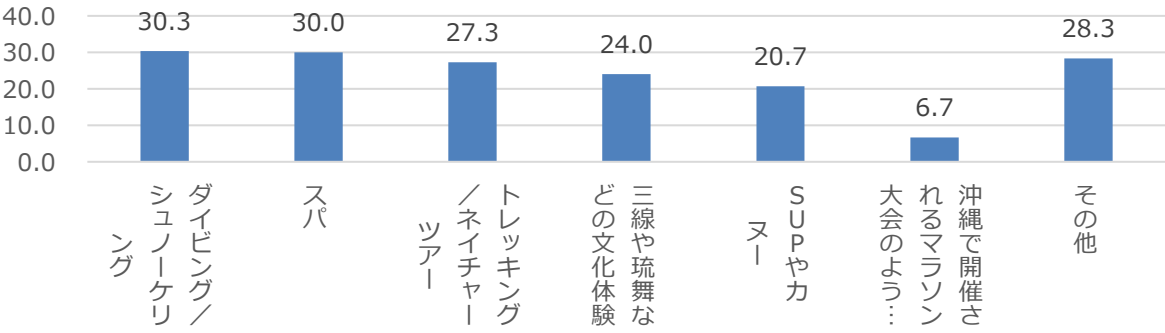
- P32 では感じる・やや感じるが 48%だったが、「沖縄らしい」を付加すると53%となった。
- 30代で否定的な意見が多い。(P25 などと同様健康への取り組み意識が薄い)。

		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	15.7	37.3	22.0	25.0
性 別	男性	157	13.4	35.7	26.1	24.8
	女性	143	18.2	39.2	17.5	25.2
年 代	20代	47	21.3	48.9	14.9	14.9
	30代	61	19.7	21.3	23.0	36.1
	40代	63	7.9	52.4	22.2	17.5
	50代	74	16.2	32.4	23.0	28.4
	60代	55	14.5	34.5	25.5	25.5
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	19.0	34.0	21.0	26.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	16.0	44.0	21.0	19.0
	世帯年収1400万以上	100	12.0	34.0	24.0	30.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム来沖時の希望コンテンツ

滞在型ヘルスツーリズムを受けるために、どのようなアクティビティがあれば、沖縄に行きたいと感じますか？（複数回答可）

全体では男性が「ダイビング/シュノーケリング」との回答が30.3%、女性では「スパ」が38.5%と最も多い。年代別では、20代・40代は「ダイビング/シュノーケリング」、30代・50代は「その他」、60代は「ダイビング/シュノーケリング」と「トレッキング/ネイチャーツアー」が最も多い。



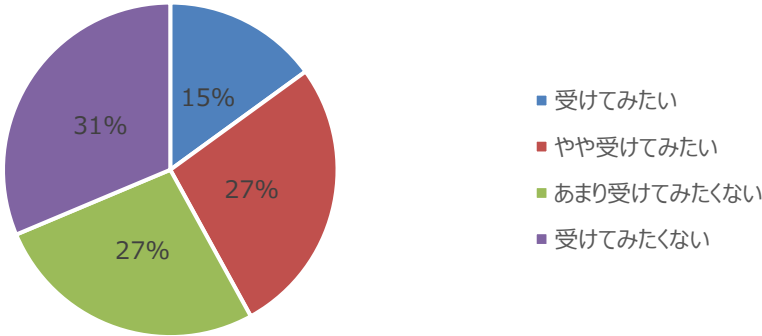
- ダイビング・シュノーケリングは若年層に人気と思われたが、50代を除いて60代にも人気が高い。
- SUPやカヌーについては、20代、30代に人気。

		該当数	ダイビング/シュノーケリング	スパ	トレッキング/ネイチャーツアー	三線や琉舞などの文化体験	SUPやカヌー	沖縄で開催されるマラソン大会のようなイベント	その他
全 体		300	30.3	30.0	27.3	24.0	20.7	6.7	28.3
性 別	男性	157	32.5	22.3	32.5	20.4	20.4	8.9	33.1
	女性	143	28.0	38.5	21.7	28.0	21.0	4.2	23.1
年 代	20代	47	46.8	31.9	36.2	31.9	29.8	12.8	8.5
	30代	61	31.1	34.4	23.0	18.0	24.6	3.3	36.1
	40代	63	31.7	28.6	27.0	14.3	15.9	7.9	27.0
	50代	74	17.6	27.0	23.0	31.1	17.6	8.1	35.1
	60代	55	30.9	29.1	30.9	25.5	18.2	1.8	29.1
世帯収入	世帯年収1000万～1200万未満	100	30.0	31.0	20.0	29.0	22.0	7.0	30.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	34.0	28.0	34.0	28.0	27.0	5.0	25.0
	世帯年収1400万以上	100	27.0	31.0	28.0	15.0	13.0	8.0	30.0

3-3 アンケート結果 半日ヘルスチェック・コースへの関心

沖縄のリゾートホテルに滞在していたとして、期間中に近隣で、下記\*のような半日ヘルスチェックやコンディショニングコースがあれば受けてみたいですか？

全体では男性が「受けてみたくない」との回答が31.3%、女性では「やや受けてみたい」が30.8%で最も多い。年代別では20代・30代・50代「受けてみたくない」、40代「あまり受けてみたくない」、60代「やや受けてみた」が最も多い。世帯収入別では「受けてみたくない」が最も多い。



- 肯定的な回答が半数以下。
- 滞在型ヘルスツーリズム自体の認知が低い中、テキスト上の説明で十分伝わらなかった可能性もあり。
- 30代はP25,33同様健康への取り組みに関して関心が薄いと考えられる。

		該当数	受けてみたい	やや受けてみたい	あまり受けてみたくない	受けてみたくない
全 体		300	15.0	27.0	26.7	31.3
性 別	男性	157	13.4	23.6	28.7	34.4
	女性	143	16.8	30.8	24.5	28.0
年 代	20代	47	17.0	27.7	25.5	29.8
	30代	61	19.7	14.8	19.7	45.9
	40代	63	12.7	33.3	34.9	19.0
	50代	74	16.2	25.7	23.0	35.1
	60代	55	9.1	34.5	30.9	25.5
世 帯 収 入	世帯年収1000万～1200万未満	100	22.0	26.0	21.0	31.0
	世帯年収1200万～1400万未満	100	11.0	28.0	33.0	28.0
	世帯年収1400万以上	100	12.0	27.0	26.0	35.0

KIN Conditioning Resort  
体験プログラム

「カラダの動き」に特化した健康診断受けてますか？

- 腰痛や肩こり、関節痛などの原因を知る！
- 自覚症状の出していないカラダの不調を発見！
- 普段、気づいていないカラダのクセや左右の違いを治す

提供プログラム	詳細	
メディカル チェック	頸椎・腰椎（股関節）、膝関節のレントゲン	
	身体測定（身長、体重、体組成）	
	MRI撮影	※オプション
	骨密度検査	※オプション
パーソナル フィジカル チェック	セラピスト、トレーナーによるフィジカルチェック	
フィードバック	セラピスト、トレーナーによるフィードバック 動画によるトレーニングプログラムの提案	

所要時間： 約2～3時間  
想定価格： 2.5万円～3万円（オプションは+α）  
実施場所： KINスポーツ・整形クリニック@沖縄県金武町

\* 回答画面で表示したプログラム

## 3-3 アンケート結果

---

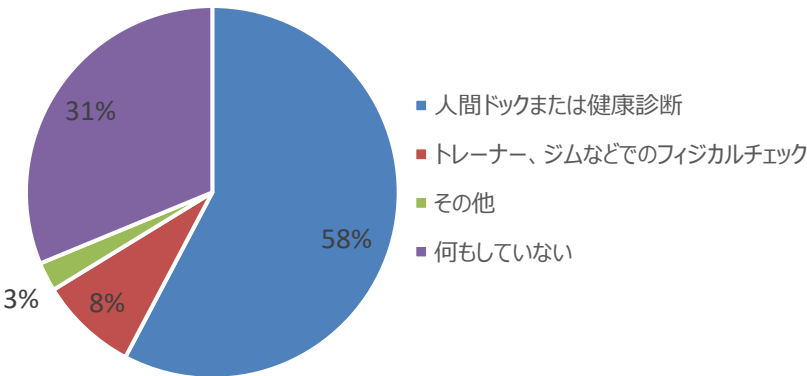
### 4. 運動頻度の高さと健康への取り組み及び滞在型ヘルスツーリズムへの関心【追加クロス集計】

注意：

運動頻度の月に3-3回程度以下については母数が少ないため、平均の%と比べて%の差が大きく出ることがあるが、大まかな傾向としてとらえること。

定期的に（１年に１回等）身体の変化に関してどのようなチェックをしていますか？（複数回答可）

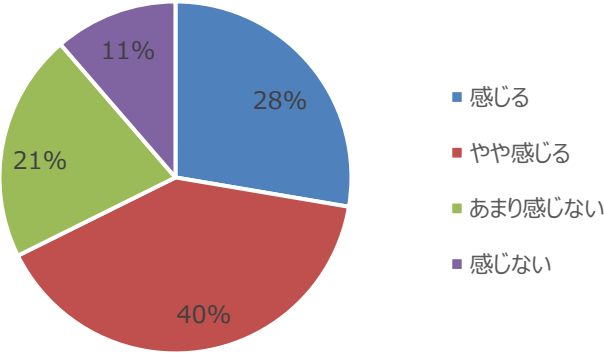
トレーナー、ジムなどでのフィジカルチェックについては、1回/週以上の運動を実施している層にしか見られない。人間ドックまたは健康診断の受診は、必ずしも運動実施頻度とはリンクしていない。



		該当数	人間ドックまたは健康診断	トレーナー、ジムなどでのフィジカルチェック	その他	何もしていない
全 体		300	61.0	9.0	2.7	33.0
○ 3	毎日	63	69.8	9.5	6.3	23.8
	週に２・３回程度	82	68.3	17.1	3.7	22.0
	週に１回程度	37	51.4	18.9	2.7	32.4
	月に２・３回程度	5	60.0	0.0	0.0	40.0
	月に１回程度	3	66.7	0.0	0.0	33.3
	月に１回以下	7	71.4	0.0	0.0	28.6

成人についても、運動能力（※学生時代の体カテストのイメージ）に関しての定期的なチェックが必要だと感じますか？

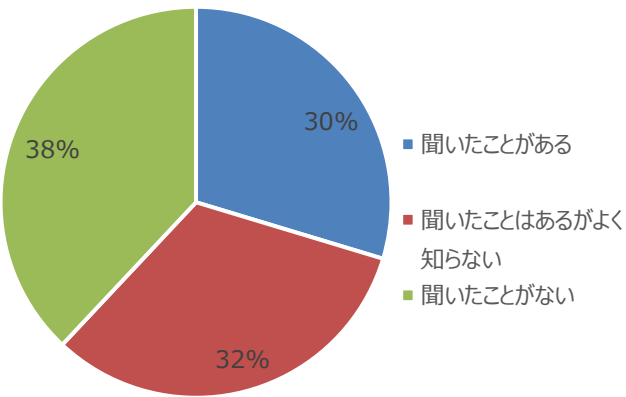
全体的には、「感じる」が7割近いが、特に運動頻度が高い層に「感じる」が多い。日ごろから体力や筋力の低下を感じていると想定される。



		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	27.7	40.0	21.0	11.3
	毎日	63	38.1	34.9	19.0	7.9
	週に2・3回程度	82	39.0	36.6	19.5	4.9
	週に1回程度	37	24.3	51.4	16.2	8.1
	月に2・3回程度	5	20.0	80.0	0.0	0.0
	月に1回程度	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	月に1回以下	7	28.6	42.9	14.3	14.3

これまでにコンディショニングという言葉を知ったことはありますか？

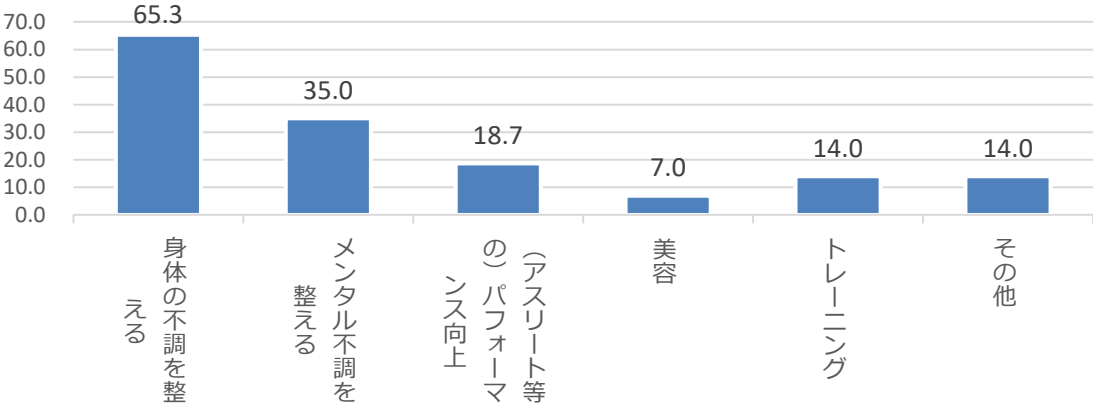
運動頻度が高いほど、「聞いたことがある」の割合が高い。運動頻度が月に1回またはそれ以下の層では、半数以上が「コンディショニング」について認知していないことから、運動のシーンにおいて「コンディショニング」というキーワードが浸透していていると考えられる。



		該当数	聞いたことがある	聞いたことがよく知らない	聞いたことがない
全 体		300	29.7	32.3	38.0
	毎日	63	41.3	36.5	22.2
	週に2・3回程度	82	39.0	28.0	32.9
	週に1回程度	37	29.7	32.4	37.8
	月に2・3回程度	5	20.0	60.0	20.0
	月に1回程度	3	0.0	33.3	66.7
	月に1回以下	7	14.3	28.6	57.1

コンディショニングと聞いて何を想像しますか？（複数回答可）

運動頻度がの高さとコンディショニングのイメージに明確な相関関係は見られないが、運動頻度が低い層では「その他」が多いことから、コンディショニングの認知率の低さ（前ページ）の影響が出ていると思われる。

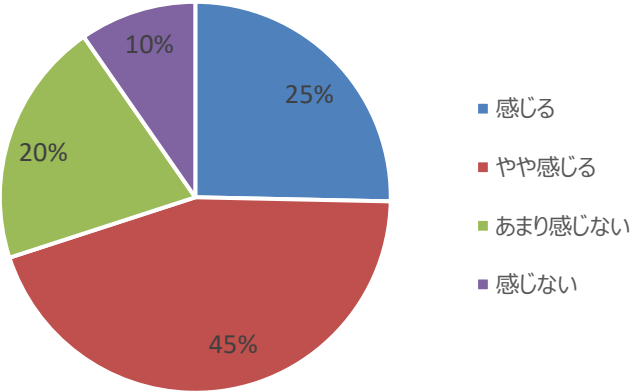


		該当数	身体の不調を整える	メンタル不調を整える	(アスリート等の) パフォーマンス向上	美容	トレーニング	その他
全 体		300	65.3	35.0	18.7	7.0	14.0	14.0
	毎日	63	73.0	41.3	23.8	15.9	14.3	6.3
	週に2・3回程度	82	68.3	36.6	24.4	6.1	14.6	12.2
	週に1回程度	37	64.9	35.1	13.5	2.7	13.5	10.8
	月に2・3回程度	5	80.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	月に1回程度	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	月に1回以下	7	57.1	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6



スポーツ医科学について、アスリートだけではなく、一般の方々の健康に役立つものだと感じますか？

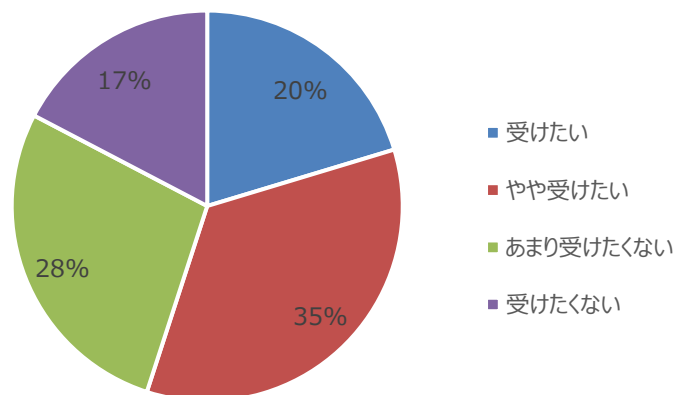
運動頻度がの高い層ほど「感じる」の割合が多い。



		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	25.3	44.7	20.3	9.7
	毎日	63	34.9	41.3	19.0	4.8
	週に2・3回程度	82	28.0	47.6	19.5	4.9
	週に1回程度	37	27.0	54.1	8.1	10.8
	月に2・3回程度	5	0.0	60.0	40.0	0.0
	月に1回程度	3	0.0	0.0	100.0	0.0
	月に1回以下	7	28.6	42.9	14.3	14.3

## スポーツ医学を修めた専門医によるアドバイスや、国家資格である理学療法士保持者からの健康上のアドバイスを受けたと思いますか？

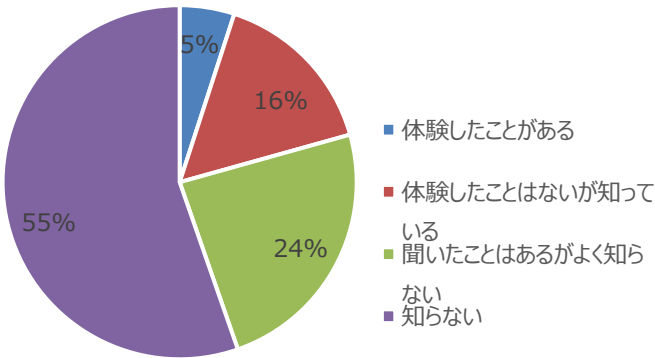
運動頻度がの高い層ほど「受けた」「やや受けた」が多い、頻度が低いほど「あまり受けたくない」、「受けたくない」が多い。但し、運動頻度の一番低い層では、「やや受けた」が平均より上回っている。



		該当数	受けた	やや受けた	あまり受けたくない	受けたくない
全 体		300	20.3	34.7	27.7	17.3
	毎日	63	34.9	23.8	33.3	7.9
	週に2・3回程度	82	25.6	43.9	22.0	8.5
	週に1回程度	37	18.9	37.8	27.0	16.2
	月に2・3回程度	5	0.0	60.0	40.0	0.0
	月に1回程度	3	0.0	0.0	66.7	33.3
	月に1回以下	7	14.3	42.9	28.6	14.3

滞在型ヘルスツーリズム（宿泊をして、自分の体をチェックしたりメンテナンスをする旅行商品）を知っていますか？

運動頻度がの高い層ほど認知は高く、「体験したことがある」については月に2，3回以上の層のみである。



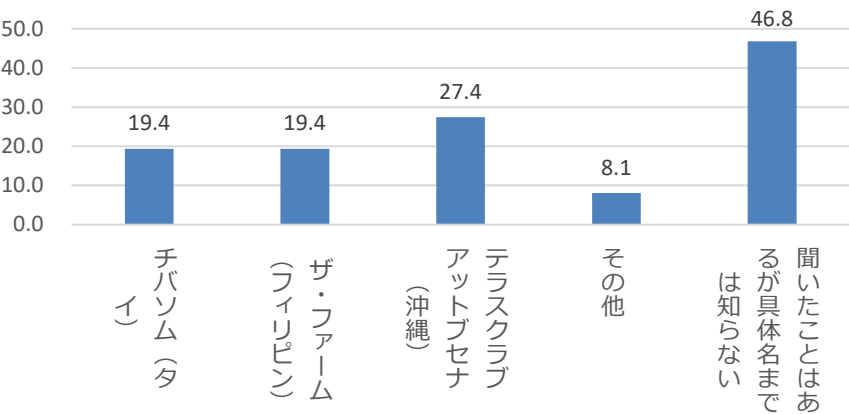
		該当数	体験したことがある	体験したことはないが知っている	聞いたことはあるがよく知らない	知らない
全 体		300	5.0	15.7	24.0	55.3
	毎日	63	9.5	20.6	30.2	39.7
	週に2・3回程度	82	4.9	22.0	24.4	48.8
	週に1回程度	37	8.1	24.3	27.0	40.5
	月に2・3回程度	5	0.0	0.0	20.0	80.0
	月に1回程度	3	0.0	0.0	33.3	66.7
	月に1回以下	7	0.0	0.0	14.3	85.7

3-3 アンケート結果 認知している滞在型ヘルスツーリズム

運動頻度別

滞在型ヘルスツーリズム（宿泊をして、自分の体をチェックしたりメンテナンスをする旅行商品）について、  
ご存じのものをお選びください。（複数回答可）

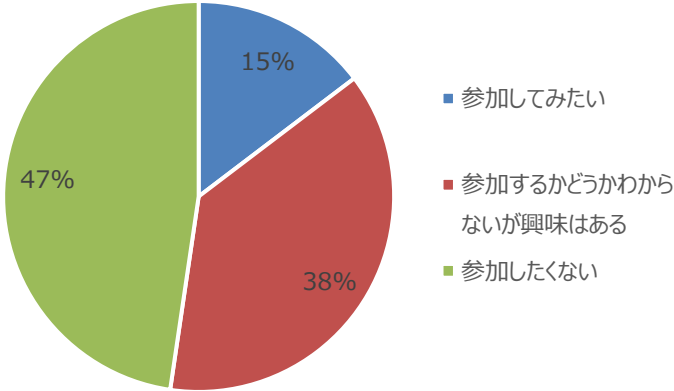
運動頻度が高い層ほど認知は高く、毎日運動をしている層では「テラスクラブアットブセナ」の認知率が高かった。



		該当数	チバソム（タイ）	ザ・ファーム（フィリピン）	テラスクラブアットブセナ（沖縄）	その他	聞いたことはあるが具体名までは知らない
全 体		62	19.4	19.4	27.4	8.1	46.8
	毎日	19	31.6	21.1	42.1	10.5	31.6
	週に2・3回程度	22	18.2	22.7	27.3	9.1	45.5
	週に1回程度	12	16.7	16.7	16.7	8.3	50.0
	月に2・3回程度	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月に1回程度	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	月に1回以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

滞在型ヘルスツーリズムに参加してみたいと思いますか？

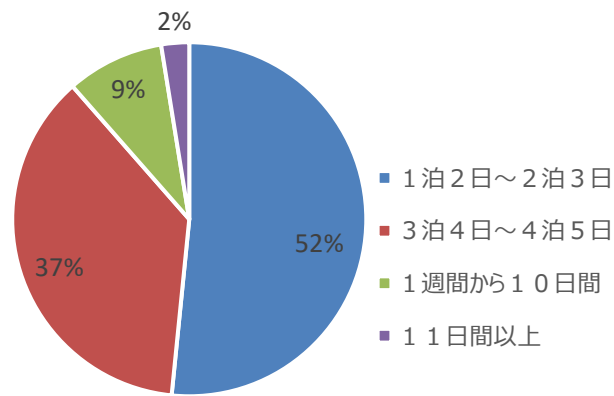
運動頻度が高い層ほど関心は高い。月に1回またはそれ以下の運動頻度の層は「参加したくない」が半数以上となっている。



		該当数	参加してみたい	はわ参加するかどうか があるからないが興味	参加したくない
全 体		300	14.7	37.7	47.7
	毎日	63	23.8	39.7	36.5
	週に2・3回程度	82	19.5	41.5	39.0
	週に1回程度	37	21.6	35.1	43.2
	月に2・3回程度	5	0.0	60.0	40.0
	月に1回程度	3	0.0	33.3	66.7
	月に1回以下	7	0.0	42.9	57.1

滞在型ヘルスツーリズムに参加する場合、どのくらい滞在したいですか？

総じて、運動頻度が低いほど「短期滞在」を好む傾向にある。



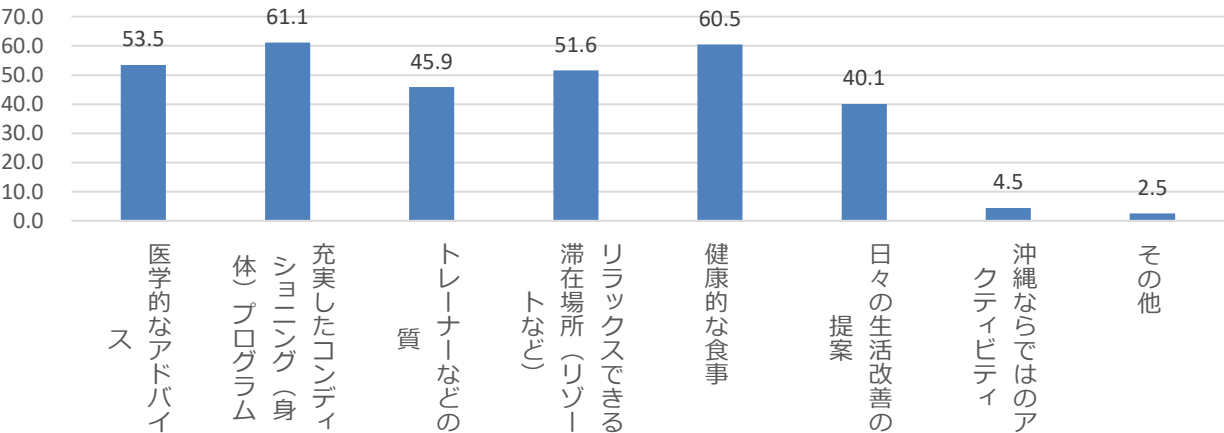
		該当数	1泊2日～2泊3日	3泊4日～4泊5日	1週間から10日間	11日間以上
全 体		157	51.6	36.9	8.9	2.5
	毎日	40	55.0	25.0	15.0	5.0
	週に2・3回程度	50	50.0	44.0	6.0	0.0
	週に1回程度	21	33.3	52.4	14.3	0.0
	月に2・3回程度	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	月に1回程度	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	月に1回以下	3	66.7	33.3	0.0	0.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズムへ期待するサービス

運動頻度別

滞在型ヘルスツーリズムに参加する際、どのようなサービスを期待しますか？（複数回答可）

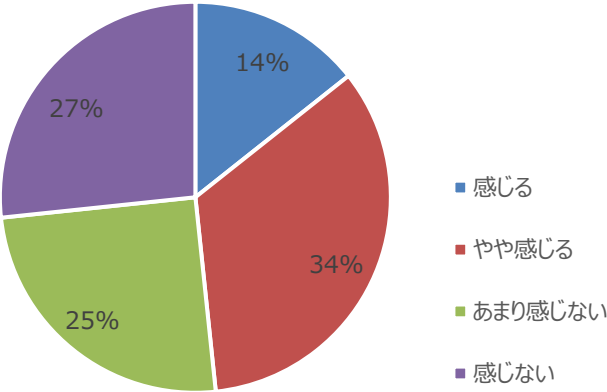
運動頻度と期待するサービスに相関関係はあまり見られないものの、運動頻度が低い層は高い層に比べて、「健康的にな食事」に対する関心が高い。  
＝運動習慣がない分、「食」での健康維持へのサービスを求めるともいえる。



		該当数	医学的なアドバイス	充実したコンディショニング(身体)プログラム	トレーナーなどの質	リラックスできる滞在場所(リゾートなど)	健康的な食事	日々の生活改善の提案	沖縄ならではのアクティビティ	その他
全 体		157	53.5	61.1	45.9	51.6	60.5	40.1	4.5	2.5
	毎日	40	60.0	67.5	40.0	52.5	57.5	42.5	10.0	2.5
	週に2・3回程度	50	48.0	54.0	60.0	40.0	52.0	34.0	2.0	4.0
	週に1回程度	21	61.9	61.9	38.1	47.6	57.1	33.3	4.8	0.0
	月に2・3回程度	3	100.0	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	0.0	0.0
	月に1回程度	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	月に1回以下	3	66.7	66.7	33.3	66.7	100.0	100.0	33.3	0.0

滞在型ヘルスツーリズムを受けるために沖縄に行ってみたいと感じますか？

運動頻度が高いほうが滞在型ヘルスツーリズム目的での来沖意向が強い。特に、月に2-3回程度以下の層に関しては、来沖意向があるのは50%以下となっている。

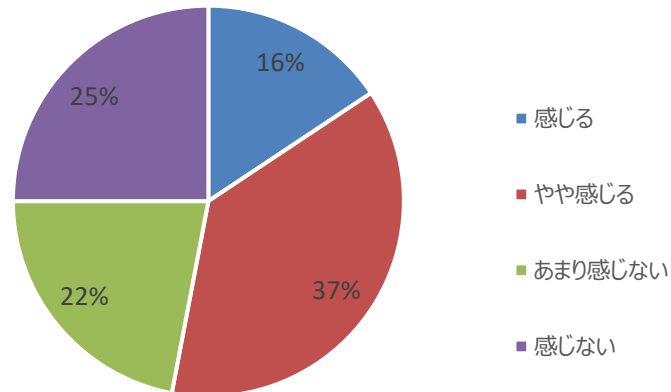


		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	14.3	34.0	25.0	26.7
	毎日	63	23.8	38.1	20.6	17.5
	週に2・3回程度	82	17.1	42.7	20.7	19.5
	週に1回程度	37	10.8	40.5	29.7	18.9
	月に2・3回程度	5	0.0	20.0	60.0	20.0
	月に1回程度	3	0.0	0.0	66.7	33.3
	月に1回以下	7	0.0	42.9	42.9	14.3



沖縄らしいアクティビティや食・文化体験ができるのであれば、滞在型ヘルスツーリズムを受けるために  
沖縄に行ってみたいと感じますか？

運動頻度が高いほうが沖縄ならではのアクティビティを付加した滞在型ヘルスツーリズム目的での来沖意向が強い。逆に、月に2-3回程度の運動頻度以下の層については、「沖縄らしいアクティビティを付加したとしても、滞在型ヘルスツーリズム目的での来沖意向は芽生えない」といえる。



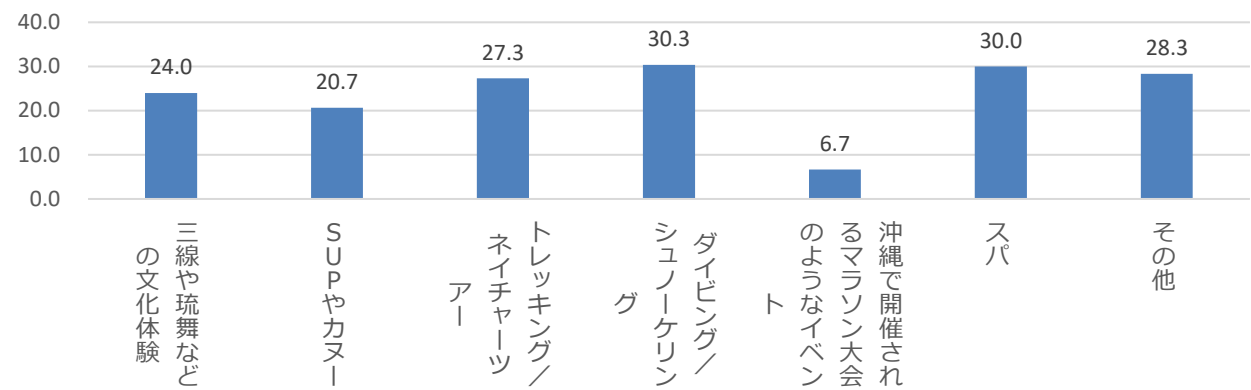
		該当数	感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
全 体		300	15.7	37.3	22.0	25.0
	毎日	63	31.7	31.7	20.6	15.9
	週に2・3回程度	82	17.1	46.3	18.3	18.3
	週に1回程度	37	16.2	45.9	18.9	18.9
	月に2・3回程度	5	0.0	40.0	40.0	20.0
	月に1回程度	3	0.0	33.3	33.3	33.3
	月に1回以下	7	0.0	57.1	42.9	0.0

3-3 アンケート結果 滞在型ヘルスツーリズム来沖時の希望コンテンツ

運動頻度別

滞在型ヘルスツーリズムを受けるために、どのようなアクティビティがあれば、沖縄に行ってみたいと感じますか？（複数回答可）

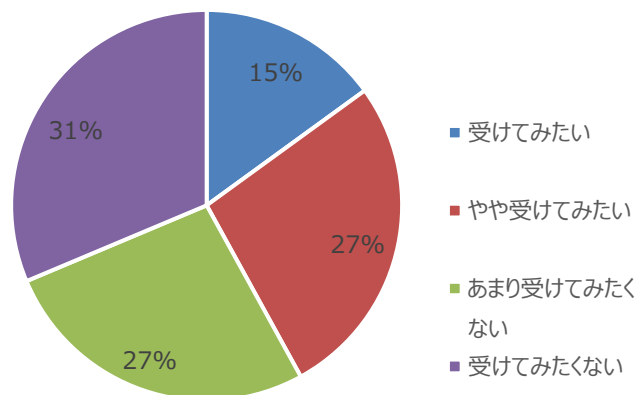
運動頻度の高さと希望するコンテンツには大きな相関関係はみられない。但し、マラソン大会のようなイベントについては、運動頻度が1回/週末満の層では関心がない。



		該当数	三線や琉舞などの文化体験	SUPやカヌー	トレッキング/ナイチャーツアー	ダイビング/シュノーケリング	沖縄で開催されるマラソン大会のようなイベント	スパ	その他
全 体		300	24.0	20.7	27.3	30.3	6.7	30.0	28.3
Q3	毎日	63	34.9	28.6	38.1	36.5	7.9	30.2	25.4
	週に2・3回程度	82	19.5	25.6	35.4	32.9	13.4	26.8	19.5
	週に1回程度	37	24.3	18.9	21.6	37.8	2.7	29.7	21.6
	月に2・3回程度	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	60.0
	月に1回程度	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	月に1回以下	7	28.6	14.3	28.6	42.9	0.0	28.6	14.3

沖縄のリゾートホテルに滞在していたとして、期間中に近隣で、下記\*のような半日ヘルスチェックやコンディショニングコースがあれば受けてみたいですか？

運動頻度が週2・3回以上の層に関しては、「受けてみたい」「やや受けてみたい」が50%を超す。運動頻度が月に1回以下の層では、受けてみたくないが多い。



	該当数	受けてみたい	やや受けてみたい	あまり受けてみたない	受けてみたくない
全 体	300	15.0	27.0	26.7	31.3
毎日	63	27.0	25.4	27.0	20.6
週に2・3回程度	82	17.1	36.6	24.4	22.0
週に1回程度	37	21.6	21.6	27.0	29.7
月に2・3回程度	5	0.0	40.0	40.0	20.0
月に1回程度	3	0.0	0.0	66.7	33.3
月に1回以下	7	0.0	28.6	42.9	28.6



## KIN Conditioning Resort 体験プログラム

「カラダの動き」に特化した健康診断受けてますか？

- 腰痛や肩こり、関節痛などの原因を知る！
- 自覚症状の出していないカラダの不調を発見！
- 普段、気づいていないカラダのクセや左右の違いを治す

提供プログラム	詳細	
メディカル チェック	頸椎・腰椎（股関節）、膝関節のレントゲン	
	身体測定（身長、体重、体組成）	
	MRI撮影	※オプション
	骨密度検査	※オプション
パーソナル フィジカル チェック	セラピスト、トレーナーによるフィジカルチェック	
フィードバック	セラピスト、トレーナーによるフィードバック 動画によるトレーニングプログラムの提案	

所要時間： 約2～3時間  
 想定価格： 2.5万円～3万円（オプションは+α）  
 実施場所： KINスポーツ・整形クリニック@沖縄県金武町

\* 回答画面で表示したプログラム

## 4. 専門家による検討会議

B

### 専門家による検討会議

#### 目的

中核プログラム（コンディショニング）の評価

第1回

受入体制の検討

第2回

他プログラム（食・アクティビティ・宿泊）検討

#### 実施方法

当初、金武町にて1泊2日の検討会議を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令等により、オンラインでの開催に切り替えた。

なお、予定していたコアプログラムである「コンディショニング」の体験については、事前に映像を制作し専門家に視聴いただくことでより具体的な内容を踏まえての議論が可能となった。

#### 委員選定

委員の選定にあたっては、検討に必要な4つの軸で絞り込みを行った

#### コンディショニング専門家

プログラムの中核をなす、「Conditioning：体を整える」部分についての有識者。  
特に、アップーマス層にサービス提供をしているトレーナーやコンディショニングコーチを想定。



#### ヘルスケアツーリズム専門家

県内外のヘルスケアツーリズムに造詣の深い有識者。  
地域でのヘルスケアやスポーツを使ったツーリズムの事例などを通して、Conditioningのみならず、他プログラムへのアドバイスも行う。



#### 県外からのツーリズム専門家

一般的な観光目線を持ち合わせたツーリズムの専門家。特に、アップーマス層の嗜好や行動パターンに詳しい方を想定。  
集客やプロモーションなど、サービス提供後の展開についてもアドバイスをを行う。



#### メディカル専門家

KINコンディショニングリゾートの「売り」の一つともいえる「メディカルとヘルスケアの融合」において医学的観点から見解を述べられる専門家（ドクター）を想定。



## 4-1 専門家選定

各カテゴリーにおける、スペシャリストが委員に就任し、環金武湾におけるスポーツ・ヘルスケアツーリズムについて意見をいただいた。

### コンディショニング専門家



**鈴木 岳**  
R-Body Project  
代表取締役

全米公認アスレティックトレーナー（ATC）の資格を保持。全日本スキー連盟専属トレーナー等として、数々のオリンピックアスリートの活躍を支える。同時に筑波大学大学院にて「トップアスリートのコンディショニング」を専門領域とした研究にも従事し博士（スポーツ医学）号を取得。2003年、株式会社 R-body project を設立。アスリートはもちろん一般の方を対象にアスレチックリハビリテーション、コンディショニング指導を提供する施設を運営している。金武町での施設視察経験あり。



**中村 美帆**  
健康運動指導士  
（フリーランス）

高知県全域にて自主運営サークルを中心に運動指導を提供。9つのサークルを運営、文化教室講師など在校生数は約300名。高知市教育委員会や室戸市役所など、行政主導の教室なども担当。健康運動指導士、漢方養生指導士、日本アロマテラピー環境協会認定アロマテラピーインストラクターなど多くの資格を持つ。

### ヘルスケアツーリズム専門家



**矢尾雅義**  
凸版印刷  
ソーシャルイノベーション  
センター 部長

1986年凸版印刷入社以来、企画部門でマーケティング、プロデュース業務を担当。現在は、中央省庁や全国の自治体とともに街づくり、地域活性化、ヘルスケアなどを主テーマとした産官学民連携事業に取り組んでいる。また2017年度より内閣府地方創生支援人材制度により千葉県館山市に派遣され、民間企業と行政の両方の立場から地域課題に取り組んでいる。



**野中 瑠美子**  
R's conte代表  
琉球大学ヘルスツーリズム研究分  
野 ウェルネス研究プラットフォーム アドバイザリーボード

リクルートにて、地域への誘客施策立案や事業推進、地域観光関連事業者への経営支援・販売促進業務に従事。その後旅館支配人、KBS社執行役員沖縄支店長を経て現在に至る。2013年より沖縄における国や県主体の地域活性化プロジェクトに携わり、特にヘルスケアツーリズム、ウェルネスツーリズムといった、新領域の商品開発や市場開拓に従事。

### 県外からのツーリズム専門家



**西 尚子**  
『関東・東北じゃらん』  
編集長

リクルート入社後、じゃらん事業部じゃらん編集課へ。「じゃらん」関東版編集デスクを経て、シニア向け旅行情報誌「いい旅見つけた」の立ち上げに携わる。「おとなのいい旅」東日本版編集長、シニア向け旅行DM誌「ゆこゆこ」編集長を経て、エリアプロデューサーとして甲信越・栃木県・群馬県・三重県・静岡県の地域活性化事業を担当。2019年4月より現職

### メディカル専門家



**松本 英男**  
日本スポーツ医学財団  
理事長

スポーツ医学の総本山ともいえる慶應義塾大学病院スポーツ医学総合センターで長年に渡り、治療と指導にあたり、トップアスリートも含め多くのアスリートたちの選手生命を救う。KINコンディショニングリゾートの参画企業でもあるKINスポーツ・整形クリニックにて定期的に診察を行う他、佐喜真義肢においても共同で装具の開発を行うなど、金武町におけるスポーツ医学についての知識、経験も豊富。

## 4-2 専門家会議実施概要

### 概 要

日時： 1月27日（木）13:30~16:30

場所： オンライン

参加者：

専 門 家	コンディショニング専門家	R-Body Project 代表取締役	鈴木 岳 氏
	ヘルスケアツーリズム専門家	凸版印刷 ソーシャルイノベーションセンター 部長	矢尾 雅義氏
		R's conte代表 琉球大学ヘルスツーリズム研究分野 ウェルネス研究プラットフォーム アドバイザリーボード	野中 瑠美子氏
	県外からのツーリズム専門家	『関東・東北じゃらん』 編集長	西 尚子 氏
	メディカル専門家	日本スポーツ医学財団 理事長	松本 英男 氏
	KINスポーツ整形クリニック		新庄院長 比嘉部長
	沖縄総合事務局	経済産業部 企画振興課	野原 係長 上原 氏
	大高商事 (調査受託事業者)		青田 美奈

※中村委員は都合により欠席のため、2/3に個別ヒアリングを実施した。

※専門家会議資料として、概要説明資料（本報告書の参考資料）及びアンケート調査結果を用いた。

### プログラム

13:30 ~	調査事業説明 内閣府沖縄総合事務局( 5 min)	沖縄総合事務局：上原氏
13:35~	自己紹介(5min)	各委員・KCRメンバー
13:40~	KCR概要説明 (10min)	大高商事：青田
13:50~	アンケート調査結果説明 (10min)	大高商事：青田
14:00~	議題①： コンディショニングプログラムについて (70min)	各委員
15:10~	休憩 (10min)	
15:20~	議題②： ・その他プログラム（観光など）について ・受入体制・販売方法について ・その他課題 (70min)	各委員
16:30	終了	



1/27専門家会議



2/3中村委員個別ヒアリング

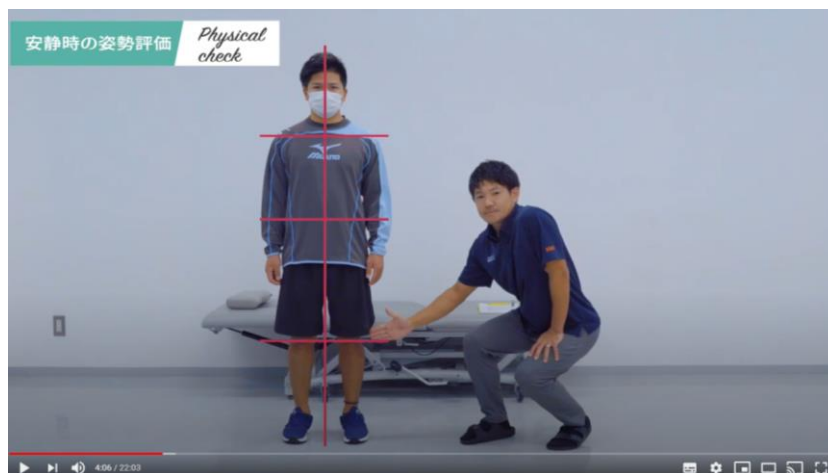


## 4-3 専門家会議用映像制作

当初、専門家が来沖して体験する予定だったコアプログラムである「Conditioning プログラム」について事前に映像を制作し、専門家が視聴した上で会議に参加し議論を行った。



KINスポーツ整形外科クリニック院長によるプログラム紹介



理学療法士である比嘉部長による各種評価



理学療法士である比嘉部長による各種評価



フィードバックの様子

## 4-4 専門家会議総括

### ■Conditioningプログラム

評価プログラムが丁寧に構成されている。それらの**チェック内容とその後のアクティビティ、帰宅した後の運動指導などのさらなるリンクがある**という意見と、逆に**アクティビティは楽しみとして独立させた方が良い**という意見があった。

理学療法士からの包括的な説明が必要。モビリティ(動き)、スタビリティ(静止の状態)、アライメント(骨や関節の並び)についての評価の流れは問題なし。それぞれのチェックを行った上で、統合動作についても注意ポイントを準備しておく必要がある。

医療との連携を強みに、「10年後の自分」を予測してそれをビジュアルで見せつつ指導をするようなアイデアもある。後述のターゲティングの精度をあげながら、プログラムの調整が必要である。

### ■ターゲティングの精査

細分化または再設定の余地がある。アッパーマスの層の「痩せたい人」なのか「鍛えたい人」なのかを**細分化**する方法もある。

再設定の場合、ペルソナで設定している40代働き盛りの男性で果たして市場が取れるか疑問があるため、**女性、アクティブシニアなど別のターゲットも検討すべき**。

その場合、現在のプログラム(美容の要素が少なくても)でも十分メインターゲットとなりうる。

### ■沖縄らしいプログラムの必要性

コアプログラムの質だけで沖縄まで呼び込むのは難しい。**沖縄ならではのプログラムとの融合が必要。特に食の部分で、地域特性を出す**ことは必要。地元で昔から食べられているものを掘り起こすなどの工夫が必要。

### ■プロモーション

沖縄にキャンプに来ているプロアスリートへの支援実績などをPRネタとできるとよい。**ワーケーションとのタイアップ**も可能。また、**健康経営を目指している企業へのアプローチ**も検討の余地がある。

**顧客(ファン)を抱えているインストラクターなどを中心にツアーを造成**することも可能である。

### ■ホテルとの連携

半日コースなどの提供も鑑みて、ホテルとの連携は有効である。医学的検査以外の部分においては、出張型も考えられる。ホテルのニーズ調査において**「アクティビティーニーズ」、「ここでしかできないこと」、「活力を得たい」**といった項目があがっている。コロナを経てさらに「体験型」に注目が集まってきている。

また**高単価のホテルに宿泊する層はかなりニーズが多様化**しているため、本プログラムのような独自性の高いプログラムへの関心も高いと考えられる。それらを手軽に試せるお試しプログラムがあるとよい。

### ■プログラム提供価格

1日2-3時間で2万~2万5,000円は**「価値が伝われば妥当」**だが、ツーリズムという観点であれば旅費、宿泊費も含めて検討すべき。「医師のアドバイスが受けられる」点が重要な強みではあるがうまく訴求できないと価値とは認められづらい。このあたりのプロモーションの工夫も必要である。



## 5. 調査総括

WEBアンケート調査及び専門家会議の結果を以下のようにまとめる。

カテゴリー	当初想定	アンケート結果からの分析	専門家会議でのフィードバック	今後の課題
Conditioningプログラム	メディカルとフィットネスの融合という「Conditioningプログラム」の強みを活かしたプログラム構成で、ヘルスコンシャスなアップーマス層（40-50代）を狙う	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査ではプログラムの内容（WEB画面上にテキストで表示）が伝わりづかったこともあり、関心が低い結果となった。</li> <li>プロモーション時にも同様の問題が発生することから、プログラムも質や効果について、集客時に訴求する工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディカルとフィットネスの融合という点及びプログラム自体については高評価であった。</li> <li>チェック内容とその後のアクティビティ、帰宅した後の運動指導などのさらなるリンクがあるとよいという意見と、逆にアクティビティは楽しみとして独立させた方がよいという意見があった。</li> <li>理学療法士からの包括的な説明が必要。各部位それぞれのチェックを行った上で、統合動作についても注意ポイントを準備しておく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバック部分の質の向上（ここでしか受けられない内容）</li> <li>リピート利用を促進するプログラム構成</li> <li>帰宅後の継続したアプローチの検討（顧客との接点を維持してリピートに繋げる）</li> <li>顧客に伝わりやすい「売り（他サービスとの差別化）」の見せ方の検討</li> <li>メディカル部分の強みの見せ方の検討</li> </ul>
Conditioningプログラムの展開案	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療との連携を強みに、「10年後の自分」を予測してそれをビジュアルで見せつつ指導をするというようなアイデアもある。後述のターゲティングの精度をあげながら、プログラムの調整が必要である。</li> </ul>	
ターゲティング	40-50代のアップーマス（保有資産3000万～5000万）のヘルスコンシャス層	<ul style="list-style-type: none"> <li>世帯年収の高さと健康に対する意識の高さ及び運動実施率は比例している</li> <li>滞在型ツーリズムについても年収が高いほど関心が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細分化または再設定の余地がある。アップーマス層の「痩せたい人」なのか「鍛えたい人」なのかを細分化する方法もある。</li> <li>ペルソナで設定している40代働き盛りの男性で果たして市場が取れるか疑問があるため、女性、アクティブシニアなど別のターゲットも検討すべき。現在のプログラム（美容の要素が少なくても）でも十分メインターゲットとなりうる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットの細分化</li> <li>女性、アクティブシニアなどのターゲット化の検討</li> </ul>

## 5. 調査総括

WEBアンケート調査及び専門家会議の結果を以下のようにまとめる。

カテゴリー	当初想定	アンケート結果からの分析	専門家会議でのフィードバック	今後の課題
販売方法	検討段階ではあるが、旅行代理店を通じてのツアー販売、県外ジムやインストラクターと提携してのツアー実施及び県内ホテルとタイアップした半日コースなどを想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>滞在型ヘルスツーリズムの認知度の低かったことから「沖縄まで渡航してプログラムを受ける必然性」を鑑みると、当面の販売方法としては、「本プログラムを受ける以外の理由もあって来沖する層」をターゲットとすることを検討すべき。</li> <li>その際、いかに事前にサービスの内容を訴求するかが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワーケーション利用や健康経営に取り組む企業へのBtoBセールス、ホテル滞在客への半日コースの提供、顧客を抱えるインストラクターと行くヘルスケアツアー（主目的はインストラクターとの時間の共有）など、様々なシーンを想定し販売方法を確認するとともに、各シーンに合わせたメニューの構成が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲット細分化または再設定後の販路の検討</li> <li>ターゲットを限定したモニターツアー等の実施によるユーザーニーズの把握</li> </ul>
オプションサービス	検討段階ではあるが、以下を想定 <ul style="list-style-type: none"> <li>人間ドック</li> <li>マリンアクティビティ（SUP、カヤック、シュノーケリングなど）</li> <li>ゴルフ</li> <li>管理栄養士による栄養講座</li> <li>沖縄の健康長寿食の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄の「食」に対する「健康的」というイメージが確認できたことから、オプションサービスとして健康的な食や、沖縄の健康長寿の秘訣などのノウハウ提供などが考えられる。</li> <li>アクティビティについては、ダイビングやトレッキング、ネイチャーツアーなど沖縄の自然を活用したアクティビティに関心が高かった。</li> <li>また女性にはSPAの利用意向もあることから、女性向けオプションとしてのSPAメニューの提供も検討すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食」の提供や「アクティビティ」の提供についても継続して検討が必要である。</li> <li>コアプログラムであるコンディショニングのみを目的とした来沖を訴求することが難しいと想定されるため、多目的で来沖した観光客等に対するオプションサービスのバリエーションが潜在的顧客の関心を引く可能性がある。</li> <li>オプションサービスには、「沖縄らしさ」の提供が必須であり、コアプログラムと連動する場合も深く連動しない場合も、そのコンセプトである「身体と心を整える」に沿った内容にすべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食、アクティビティについての提供事業者の選定</li> <li>オプションサービスメニュー（今後検討となっているメンタルや栄養講座などに加えて、沖縄らしさを提供できる内容）の拡充</li> </ul>

## 5. 調査総括

WEBアンケート調査及び専門家会議の結果を以下のようにまとめる（つづき）。

### ■ 受入体制

今後、本プログラムを提供していくにあたってはオプションサービスも含めた各サービスをコンサルジユ的に扱う窓口が必要となる。さらに、佐喜眞義肢のCBプレスやKIN放射線治療検診クリニックの人間ドック、2021年度オープン予定の（仮称）金武ギンバル温泉宿泊施設などとの連携においても、事業者やサービスを束ねる担当が必要。引き続き、金武町観光協会などとも調整しながらツーリズムの組成について議論を深める必要がある。

### ■ 今後

本調査終了後は、コアプログラムを提供するKINスポーツ整形クリニックなどが中心となり、金武町観光協会、金武町役場などと連携しながら提供サービスのブラッシュアップ、受け入れ体制の整備、販売活動などを実施していくことが望ましい。

（イメージ体制図）



赤字：提供可能または1年以内に提供可能なサービス